

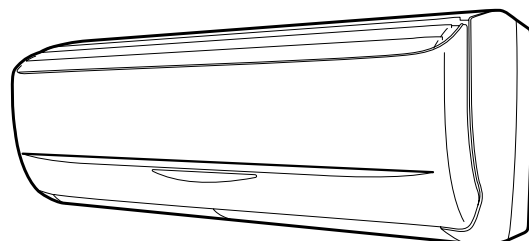
取扱説明書 ルームエアコン

SANYO

形 名 室内ユニット

室外ユニット

SAP-EX22P	SAP-CEX22P
SAP-EX25P	SAP-CEX25P
SAP-EX28P	SAP-CEX28P
SAP-EX28P2	SAP-CEX28P2
SAP-EX36P	SAP-CEX36P
SAP-EX36P2	SAP-CEX36P2
SAP-EX45P2	SAP-CEX45P2
SAP-EX56P2	SAP-CEX56P2



このたびは、ルームエアコンをお買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し、
必要なときにお役立てください。



省エネで 守る環境 豊かな暮らし



このエアコンは地球のオゾン層を
破壊しない、新冷媒R410Aを
採用しています。

新呼吸システム

給気、排気の切り換え方式による換気を行うことにより、一年中お部屋の空気をきれいにします。

自動換気

お部屋の空気の汚れ具合を CO₂ センサーと室内外の温度差を温度センサーで見張り、自動で換気運転を行います。

強制換気

お部屋の空気の状態に関係なく、連続して強制的に換気運転を行います。

※CO₂ (二酸化炭素) は全般的な室内空間の空気汚染を評価する1つの指標とされています。

給排切換

シーンに合わせて、給気・排気運転、給気のみ、排気のための運転を選ぶことができます。

(13,29 ページ)

UV・除菌 クリーンシステム

UV・除菌ユニットのはたらきで、エアコン内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。

さらに換気運転と連動して、汚れた空気や熱気・湿気を外に排出します。

また、給気時には室外より取り入れた空気を UV・除菌ユニットに導き除菌を行います。

UV・除菌ホコリカット機能

風向・風量自動の運転開始時から 30 秒間、排気ファンと連動して UV・除菌ユニットが作動し、運転開始時のエアコンから吹き出すホコリの飛散をおさえるため、吹き出す空気を一度フィルターを通過させてホコリを回収します。

UV・除菌クリーン機能

停止中のリモコン操作により、排気ファンと連動して UV・除菌ユニットが作動し、送風運転や弱風で暖房運転して内部を乾燥させ、さらに熱交換器を高温にしてカビなどの発生をおさえます。開始後、35 分間で自動的に停止します。

UV・除菌カビガード機能

停止後 30 秒間、排気ファンと連動して UV・除菌ユニットが作動し、弱風で送風運転して内部を乾燥させ、カビなどの発生をおさえます。

(27 ページ)

双方向リモコン

リモコンの「おしえて」ボタンで、室内ユニットからの室外温度、お部屋の湿度・CO₂濃度、給排状態の情報を伝える双方向通信ができます。そして、そのときどきのお部屋の状況をリモコンに表示し、確認しながら運転することができます。

(19 ページ)

洗えるアパタイト 空気清浄フィルター

素材の 3 層構造で抗菌、脱臭、集塵の 3 つの効果を持ったフィルターです。水洗いにより再使用が可能で、これにより効果も再生することができ、寿命も延びました。(当社比)

(21,22 ページ)

快適除湿

室内ユニットに温度・湿度センサー、リモコンに温度センサーを搭載し、設定温度や相対湿度 55% を目標とした除湿運転を行います。
また、リモコンの除湿ボタンの簡単操作で設定湿度が変えられる強力除湿、ソフト除湿、ランドリー運転にも対応しています。

(14 ページ)

イオン立体気流

3 枚のフラップとたて羽根が立体的な風を作り出し、お部屋の空気をリフレッシュするマイナスイオンと快適温度をムラなくお部屋のすみすみまでゆき渡させます。

(28 ページ)

ソーラーパネル (別売品)

別売のソーラーパネルを設置することにより、環境に配慮しながら電力補助を行うことができます。

■ご使用上でのお知らせ

運転開始時・停止後には一時的につぎのような機能がはたらきます。

	機 能	運 転 条 件
開始時	冷風防止	暖房時
	ニオイカット	冷房・除湿の風量自動時
	UV・除菌 ホコリカット	風向・風量自動時 暖房時 : 冷風防止優先 冷房・除湿時 : ニオイカット優先
停止後	UV・除菌 カビガード	全ての運転停止後

- 運転開始時と停止後には、排気ファンが動作します。
- 運転開始時にはUV・クリーンランプが30分間点灯し、1.5時間後さらに30分間点灯し、それを繰り返します。
- UV・除菌カビガード停止後、フラップはファン停止後に閉じます。
- 除湿・ランドリーの運転停止後には室外のファンも数分後に停止します。 (くわしい説明 26～29 ページ)

もくじ

Contents

ご使用の前に	安全上のご注意	3
	ご使用になる前に必ずお読みください	
	各部のなまえ	5
	かんたん、便利に快適空調 (リモコン操作一覧表)	7
	運転前の準備	9
使いかた	自動／暖房／冷房／ 空気清浄単独運転	11
	風向調節／風量調節	12
	換気運転	13
	強力除湿・標準除湿・ソフト除湿・ ランドリー運転／UV空気清浄運転	14
	入タイマー・切タイマー	15
	1・2・3・5Hタイマー運転	16
	UV・除菌クリーン運転／ チャイルドロック／快眠運転	17
	イオン切換／アンペア切換／ 応急運転	18
	おしえてボタン	19
必要なときに	お手入れのしかた	20
	知っておいていただきたいこと	25
	エアコンのくわしい説明	26
	エアコンを上手に使うコツ	31
	故障かな？	31
	設置について	33
	仕様	34
	保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

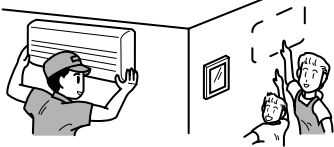
 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

■お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない 「禁止」事項		一般的な禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
していただく 「実施」事項		必ず行う		電源プラグを抜く		アースを接続する

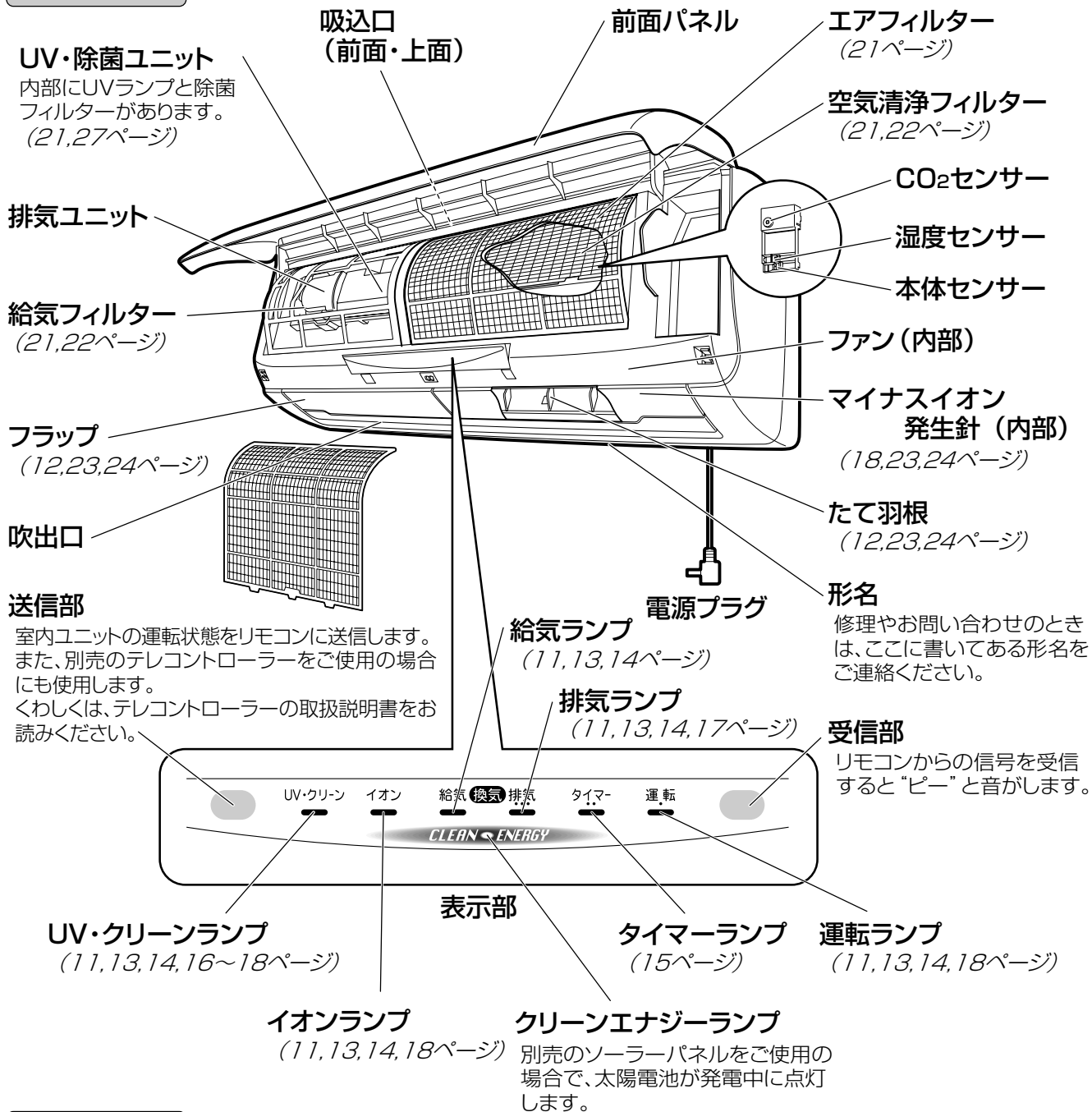
 警告		
新冷媒R410A以外の冷媒は絶対に使用しない 機械の故障と同時に、冷凍サイクルの破裂などの重大事故になります。	吹出口・吸込口に指や棒などを入れない 内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。とくに小さなお子さまにはご注意ください。	電源プラグで停止をしない 感電・火災の原因になります。
エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービス技術者に確認してください。エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。	 	
電源プラグの差し込みは確実に 電源プラグはホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。 ● いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。	 	電源プラグのホコリはときどきふきとる 長時間放置するとホコリがたまり、発火などの原因になります。
電源コードは、途中での接続・延長コードの使用・タコ足配線をしていない 電源プラグは、必ずエアコン専用の電源コンセントに直接差し込んでください。感電・火災の原因になります。	電源コードを破損したり加工したりしない 電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしないでください。電源コードが破損する原因になります。いたんだまま使用すると感電・火災の原因になります。	
		異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。
自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない 不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。	長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない 体調悪化・健康障害の原因になります。	
	 	吹出口の1m以内にスプレー缶などを置かない 温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。絶対にやめてください。
		

⚠ 注意	
ほかの目的に使用しない このルームエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。思わぬトラブルの原因になることがあります。	室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない ケガなどの原因になります。
動植物には直接風を当てない 動植物に悪影響をおよぼすことがあります。	指定以外の電源を使わない 故障・火災などの原因になります。
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない 燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。	電源コードを引っ張ってプラグを抜かない 必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると芯線の一部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする 換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。	長期間使用しない場合、安全のため電源プラグを抜く 電源プラグにホコリがたまって、発熱・発火の原因になることがあります。
エアコンを水洗いしたり、花びんなど水のいった容器を載せない 故障・感電・火災の原因になることがあります。	ぬれた手でスイッチを操作しない 感電の原因になることがあります。
ユニットに乗らない・ものを載せない 落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。	エアコンを掃除するときは運転を停止し、電源プラグを抜く 内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。
室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない 水滴が滴下することがあり、故障・感電の原因になることがあります。	据付台がいたんだまま放置しない 室外ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

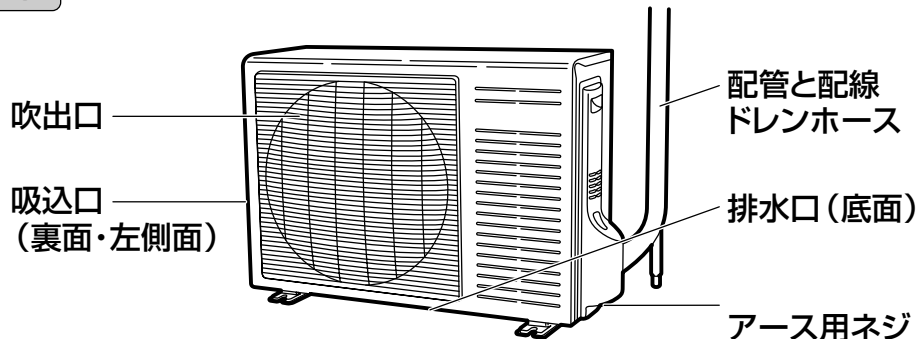
据え付け上の注意事項	
⚠ 警告 自分で据え付けはしない 不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。 お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。	
	
⚠ 注意 可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。	
	
アース工事をする アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線等に接続しないでください。 アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。	
	
漏電ブレーカーを取り付ける 設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。	
ドレンホースは、確実に排水するように配管する 排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。	

各部のなまえ

室内ユニット

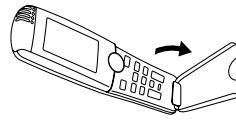


室外ユニット



開けた

閉じた



静かに開ける。
(無理な力をかけない)



扉の両側を持って、
パチッと音がするまで
閉じる。(閉じないと正しい操
作ができません)

リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。

- 運転中に温度ボタン・風向ボタン・風量ボタン・換気給排切換ボタンを押すと、それぞれの設定確認ができます。
 - ボタン操作を受け付けないときは、ドット表示部に **エラー** と表示されます。
- また、チャイルドロックがされているときのボタン操作時には **チャイルドロック** と表示されます。

送信部

受信部

運転/停止ボタン

押すと運転し、もう一度
押すと停止します。

換気ボタン
(13ページ)

1・2・3・5H
タイマーボタン

光を蓄える蓄光材を使用
し、暗いお部屋で光りま
す。
(16ページ)

温度ボタン
(11ページ)

カバー

換気給排切換ボタン
(13ページ)

風量ボタン
(12ページ)

UV・除菌クリーンボタン
(17ページ)

入タイマーボタン
切タイマーボタン

取消ボタン

1回/毎日ボタン
(15ページ)

時計ボタン
(10ページ)

体感センサー

リモコンのまわりの温度
を感知します。

表示部

運転状態を表示します。
温度表示範囲

5~35℃
(5℃以下は5℃、
35℃以上は35℃)

* 温度は誤差がありますので、め
やすとしてお使いください。

ドット表示部

除湿ボタン
(14ページ)

UV空清ボタン
(14ページ)

おしえてボタン
(19ページ)

裏から見た図

アドレス切換
(27ページ)

センサーボタン
(10ページ)

アンペアボタン
(18ページ)

▼裏面のふたをスライド

運転切換ボタン
(11ページ)

風向ボタン
(12ページ)

イオンボタン
(18ページ)

快眠ボタン
(17ページ)

チャイルドロックボタン
押すとすべての操作ができ
なくなり、もう一度押すと
解除します。
(17ページ)

▼カバーを開ける

かんたん、便利に快適空調 (リモコン操作一覧表)

自動・暖房・除湿・冷房・空気清浄単独運転

運転の種類

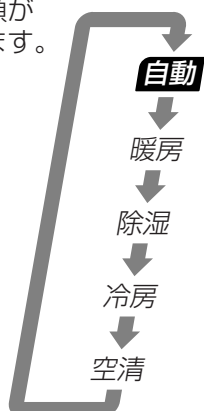
運転時のドット表示

運転するとき

1

電源プラグを差し込み、
運転切換を押して
運転の種類を選ぶ

押すごとに運転の種類が
つぎのように変わります。



2

運転停止を押す

室内ユニットの
運転ランプが点灯

設定温度を変えたい

温度を調節
する

1℃ごとに
変化します。



上げたいとき

下げたいとき

停止するとき

もう一度 運転停止を押す

ドット表示

AM 10:00 停止

エアコンに
運転内容をおまかせ
するとき



自動

AM 10:00 自動

設定標準

AM 10:00 自動

寒いとき



暖房

AM 10:00 暖房

設定24℃

AM 10:00 暖房

ジメジメ
するとき

- 梅雨
- 季節の変わりめ



除湿

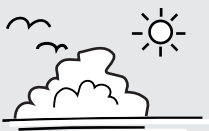
AM 10:00 除湿

設定25℃

設定55%

AM 10:00 除湿

暑いとき



冷房

AM 10:00 冷房

設定27℃

AM 10:00 冷房

空気の汚れが
気になるとき

- 花粉
- タバコの煙
- 家のホコリなど



空気
清浄

空気清浄

AM 10:00 空清

- 運転切換で運転の種類を切り換えると、設定温度はもとの設定のままですので、おこのみの温度に変更してください。
- ドット表示では、上記のほかに湿度40%以下のときに乾燥表示、湿度80%以上のときに多湿表示がドット表示の変化中に表示されます。(空気清浄単独運転はのぞく)

さらに便利に

操作ボタン

ドット表示

ドット表示部

各ボタンの操作状況と、
運転状況を表示します。

表示部

運転状況を
表示します。



▼カバーを開ける

湿気を取りたいとき

強力除湿運転
↓
標準除湿運転
↓
ソフト除湿運転
↓
ランドリー運転
(14ページ)

除湿

- 運転中、停止中にかかわらず、除湿運転を開始します。
- ランドリー運転では、3 時間後に運転を停止します。

強力除湿	1000 強力
標準除湿	1000 標準
ソフト除湿	1000 ソフト
ランドリー	※ 3時間 ※

- ドット表示 (タイマー操作はのぞく) はボタン操作時に表示され、その後もとの表示にもどります。
- **快眠** は空気清浄単独運転、UV空気清浄運転、ランドリー運転時には機能しません。
- **換気**・**イオン** は初期設定で「自動換気」・「イオン」が選択された状態になっています。

お部屋の空気の入れ換えをしたいとき

- 換気運転 (13ページ)

換気

自動換気 → 強制換気 → 換気切

換気運転の給気と排気を切り換えたいとき

換気 給排切換

- **換気** で「自動換気」が選ばれている場合
自動給気 → 自動排気 → 自動給気
- **換気** で「強制換気」が選ばれている場合
強制給気 → 強制排気 → 強制給気
- **換気** で「換気切」が選ばれている場合
給気 → 排気 → 給気

設定した時間だけ運転したいとき

- 1・2・3・5Hタイマー運転 (16ページ)

1・2・3・5H タイマー

- 運転中、停止中にかかわらず、設定した時間だけ運転します。
1Hタイマー → 2Hタイマー → 3Hタイマー → 5Hタイマー

おこのみの時刻に運転、停止したいとき

- タイマー運転

タイマー切
取消
1回/毎日

午前10:30
タイマー取消

- タイマー設定時に有効です。

空気清浄単独運転を直接選びたいとき

- UV空気清浄運転 (14ページ)

UV空清

UV空清 → UV空清

風の向き、量をおこのみに変えたいとき

- 風向調節
- 風量調節

風向
風向
風量

風向自動 → 風向左 → 風向右 → 風向自動
風向自動 → 風向左 → 風向右 → 風向自動
風量自動 → 風量中 → 風量大

室内ユニット内部のカビをおさえたいとき

- UV・除菌クリーン運転 (17ページ)

UV・除菌 クリーン

クリーン中 → UV除菌 → UV除菌 → UV除菌

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎたいとき

- (17ページ)

チャイルドロック (2秒押す)

チャイルドロック → 解除

※表中 **■■■▶** では、ドット表示の変化を省略しています。

運転前の準備

室内ユニットの準備

1

前面パネルを開ける

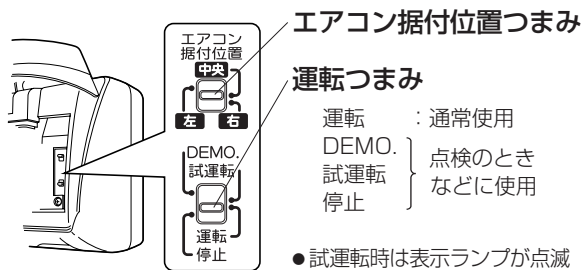
前面パネルの両端を手前に引き上げると、内側に本体操作部があります。

2

エアコン据付位置つまみをお部屋の据付位置に合わせる

3

運転つまみを「運転」の位置に合わせ、前面パネルを閉じる



4

電源プラグをコンセントに差し込む

数秒間、モーター音がします。また、たて羽根が動き、表示ランプが一瞬点灯しますが、これらは異常ではありません。

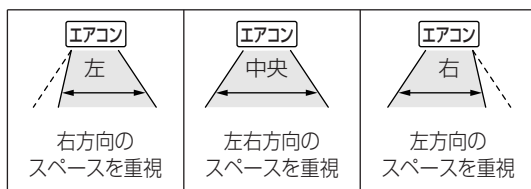
5

空気清浄フィルター(ご使用の場合)と給気フィルターを取り付ける

(取り付けかた 22ページ)

エアコン据付位置つまみについて

お部屋のエアコン据付位置に合わせて設定することにより、送風の範囲を適正な位置に限定します。たて羽根のスイング範囲はつぎのようになります。

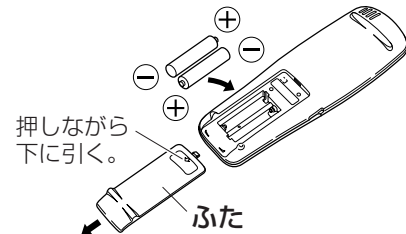


リモコンの準備

乾電池の入れかた (単4形アルカリ乾電池2本)

1

裏面のふたをはずす



2

交換の場合は を押す

(初めて電池を入れるときは必要ありません。)
古い乾電池を2本ともはずしてから押します。

3

乾電池を入れ、ふたを付ける

+-の向きを正しく！

4

現在時刻を合わせる (10ページ)

- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、1年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

お願い

- リモコンは、水のかかるところや、冷温風や日光が直接当たるところや、加湿器・熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。
- また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯やAV機器がある部屋では、信号を受け付けられないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- リモコン表示部の内容を室内ユニットに送信します。操作の前に表示をご確認ください。

現在時刻の合わせかた

- ドット表示が正常に表示されませんので、現在時刻は必ず合わせてください。



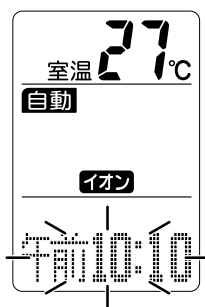
▼カバーを開ける

リモコンに乾電池を入れた後は、午後0:00が点滅しています。

(例) 午前10時10分に合わせる場合

1 を押し、「午前 10:10」に合わせる

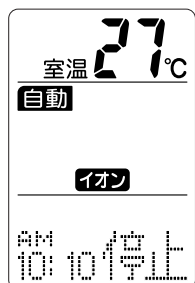
(▲すすむ、▼もどる)
時刻は1分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送りになります。



2 を押す

現在時刻セット完了です。

(ご使用中に現在時刻を修正する場合は、 を押し、時刻表示が点滅してから、上の手順で行います。)

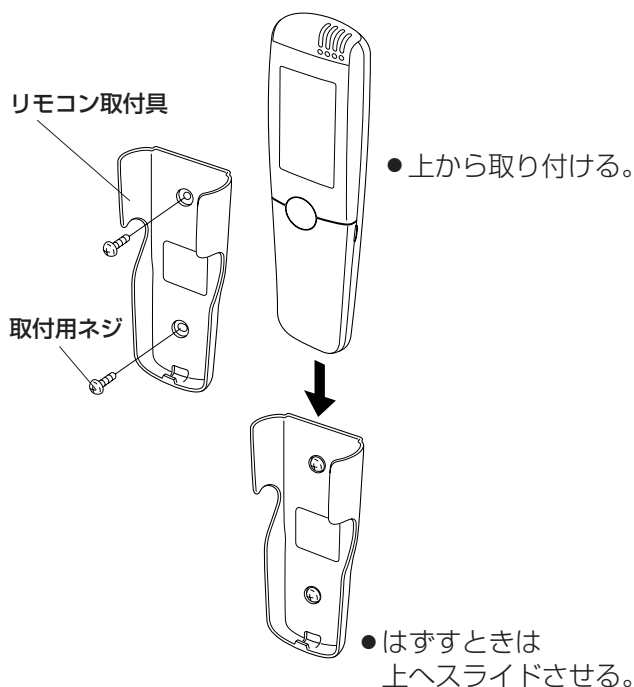


リモコンの取り付けかた

壁などに取り付けてご使用の場合

つぎのように、取り付ける位置で確認してから取り付けてください。
(このとき室内ユニットから“ピー”という受信音がします。)

- を押し、エアコンが作動すること。
- を押し、リモコンのドット表示部に本体からのデータが正しく表示されること。



お願い

- リモコンを手もとでご使用の場合、操作するときや運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるようなものを置かないでください。

センサーボタンについて

- 体感センサーは5分に1回、リモコン周りの温度中心の室温制御をし、本体センサーは30秒に1回、本体中心にきめ細かな室温制御をします。リモコン制御で支障をきたす場合は を押し、本体センサーに切り換えることをおすすめします。本体センサーに切り換えると、表示部に が表示されます。

自動／暖房／除湿／冷房／空気清浄単独運転

自動運転

エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度・風量・風向きを自動調節し、運転します。

暖房／除湿／冷房運転

おこのみの運転内容に設定できます。また、その内容はリモコンに記憶され、次回運転の際も有効です。

空気清浄単独運転

空気清浄フィルター（ご使用の場合）で空気中のチリ、ホコリを取り除き、タバコの煙やにおいを軽減する送風運転をします。



▼カバーを開ける



1

運転の種類を選ぶ

運転切換

運転切換 を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

表示部

自動 → 暖房 → 除湿 → 冷房 → 空清

ドット表示

PM 23:00 自動 → PM 23:00 暖房 → PM 23:00 除湿
PM 23:00 空清 ← PM 23:00 冷房

2

運転する

運転停止

運転停止 を押してください。

ドット表示例

（自動選択時）

PM 23:00 自動 → PM 23:00 標準 → PM 23:00 自動

自動選択時にリモコンと本体の信号が正しく送受信されると、表示部にそのときの運転の種類が表示されます。

表示部

自動 暖房

● 信号が正しく送受信されなくなると表示は消えますが、本体は運転を継続します。

運転を停止するときは

もう一度、運転停止 を押してください。

ドット表示

PM 23:00 停止

温度調節

設定温度を変えたいとき

運転中に温度を調節する

下げたいとき ▼ ▲ 上げたいとき

押すごとに1℃ずつ変化します。

ドット表示

設定16℃ ↔ 設定30℃

- 自動運転時には、標準温度から+4℃（高め）から-4℃（低め）の範囲で変更できます。（冷房時の上限は30℃です。）
- 暖房／除湿／冷房運転時、設定できる温度は16℃から30℃までです。（暖房・除湿・冷房とも共通の設定にしているため、設定幅が広がっておりますが、設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。）



自動運転時の設定標準温度・目標湿度

運転の種類	設定標準温度	目標湿度
暖 房	24℃	—
除 湿	運転開始の温度 (20℃～26℃の範囲)	55%
冷 房	27℃	—

除湿

- 除湿運転と、除湿による標準除湿運転は、同じ運転内容です。



室内ユニットのランプが点灯

- 運転ランプ
- UV・クリーンランプ
- イオンランプ（イオン入の場合）
- 給気または排気ランプ（状況に応じて点灯）

運 転 ランプ	暖 房	赤 色
	除 湿	橙 色
	冷 房	緑 色
	空気清浄	緑 色

- UV・クリーンランプは30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には排気ランプと連動して30秒間点灯します。



- 変更温度は運転停止後も記憶されています。
- 除湿運転中に設定温度を下げ、冷房運転に切り換わった場合は、3分間室外ユニットが停止します。
- 除湿運転時、室温より設定温度が高い状態で運転すると、湿度が下がらない場合があります。この場合は、設定温度を現在の室温より下げてご使用ください。
- 室温制御は設定に対し、±2℃の中で安定するように制御しています。このため、リモコン表示は設定温度とずれることがあります。安定する前に±2℃の範囲を超えることもあります。

- 風向・風量を調節したいとき

（12ページ）

- 乾きすぎるとき → ソフト除湿

（14ページ）

くわしい説明

（26ページ）

風向調節／風量調節

暖気・冷気のかたよりを調節できます。

風向自動時（上下・左右とも）には、イオン立体気流制御を行います。
（表示部に「立体気流」が点灯）
（28ページ）



▼カバーを開ける

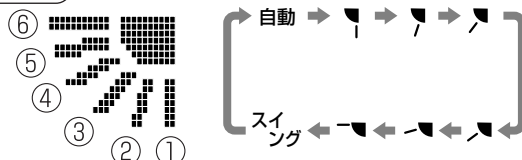
風向調節

上下の風向きを変えたいとき

運転中に「風向」を押す

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示



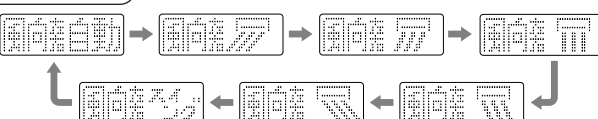
- フラップの可動範囲は、運転の種類によって異なります。（28ページ）

左右の風向きを変えたいとき

運転中に「風向」を押す

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示



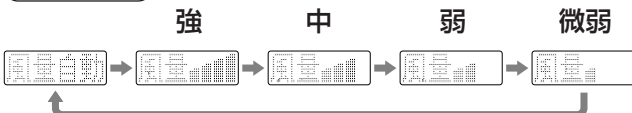
風量調節

風量を変えたいとき

運転中に「風量」を押す

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示



- 除湿運転中の「強」「中」は、冷房の「強」「中」より風量が低くなります。

お願い

- 風向調節は、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。
- 冷房・除湿運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときにたて羽根を大きく左右に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。たて羽根をまっすぐの位置にしてください。



- 風向設定は前回の位置を記憶しています。
- リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
- スイング（上下）にすると、上フラップは2枚が交互に動き、下フラップもわずかに動きます。
- 本体のフラップ位置⑥は水平よりも、若干下向きになります。
- 上フラップの位置ずれや動作スピードは、左右ですれることがあります。異常ではありません。
- 運転停止後、フラップが閉じた後、モータ音がすることがありますが異常ではありません。



- たて羽根の振り角度は、エアコン据付位置つまみの設定と運転の種類によって、異なります。
- 停止後は、いったん左を向いてから設定位置にもどります。



- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。（25ページ）
- 暖房運転時、室温が設定温度に到達すると熱交換器温度が低くなるため冷風防止機能がはたらき、おこのみの風量の変更ができないことがあります。この場合は設定温度を上げてください。
- 「自動」は風量が自動的に切り換わります。

風向・風量調節について

- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているときは、吹出温度が高くなるまでフラップ⑥の位置になります。この間はリモコンで操作しても、フラップは動きません。吹出温度が高くなると暖房運転使用範囲になります。
- UV・除菌ホコリカット機能により、風向自動（上下）・風量自動で運転開始時には、30秒間フラップは⑥よりさらに上になり、弱風で運転します。このとき、たて羽根はリモコンで操作しても動きません。
- 「運転切替」を押すと風量は自動に、風向（上下）は風向自動時のフラップ位置、風向（左右）は前回の位置になります。

換気運転

- 換気運転はエアコン運転中に行う併用換気運転と、エアコン停止中に行う単独換気運転ができます。運転中・停止中にかかわらず、お部屋の空気をおこのみによって入れ換えることができます。

併用換気運転

エアコン運転中にお部屋の空気を入れ換えることができます。

単独換気運転

エアコン停止中にお部屋の空気を入れ換えることができます。

換気運転の内容

自動換気

CO₂濃度と室内外の温度差で自動的に給気・排気をコントロールします。

強制換気

CO₂濃度にかかわらず、連続で換気運転を行います。



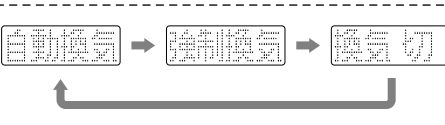
▼カバーを開ける

併用換気運転をしたいとき

換気

エアコン運転中に  を押す

ドット表示

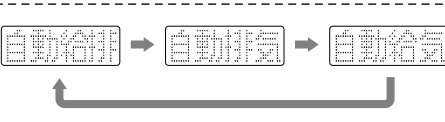


 を押すごとに変わっていくので「自動」または「強制」を選びます。

- さらに  で給排・排気・給気が選べます。

ドット表示例

(自動選択時)



換気運転だけを停止したいとき

-  を押して「換気 切」を選びます。

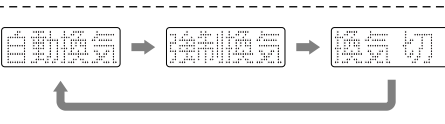
( を押すと、エアコン運転も換気運転も停止します。)

単独換気運転をしたいとき

換気

エアコン停止中に  を押す

ドット表示

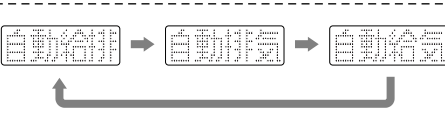


 を押すごとに変わっていくので「自動」または「強制」を選びます。

- さらに  で給排・排気・給気が選べます。

ドット表示例

(自動選択時)



換気運転を停止したいとき

-  を押して「換気 切」を選びます。



- リモコンの初期設定は自動給排が設定されています。CO₂濃度と室内外温度差によって自動的に給排運転を行います。

- 併用換気運転時、 の設定にかかわらず、UV・除菌ホリカット機能、UV・除菌カビガード機能がはたらいているときは、強制排気を行います。

- 併用換気運転中、霜取機能がはたらき室内ファンが停止したときには、給気ファン、排気ファンともに停止し、換気監視状態になり、給気・排気ランプも消えます。

- UV・クリーンランプは30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には排気ランプと連動して30秒間点灯します。

室内ユニットのランプが点灯

- 運転ランプ
- UV・クリーンランプ
- イオンランプ (イオン入の場合)
- 給気または排気ランプ (状況に応じて点灯)
- UV・クリーンランプは30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には排気ランプと連動して30秒間点灯します。
- 単独換気運転した場合、運転開始後12時間以上経過した場合には、運転を停止します。
- 単独換気運転中にエアコン運転のタイマー予約ができます。



- CO₂濃度を検知するCO₂センサーは、電源プラグをコンセントに差し込んでから1時間は機能しません。
- 換気運転することによって、室温が若干変化することがあります。
- 外気やお部屋の状況によっては二オイがすることがあります。

強力除湿・標準除湿・ソフト除湿・ランドリー運転/ UV空気清浄運転

人の感覚やシーンに合わせて、4段階の設定湿度による除湿運転が選べます。

通常の除湿運転がしたいとき
標準除湿運転

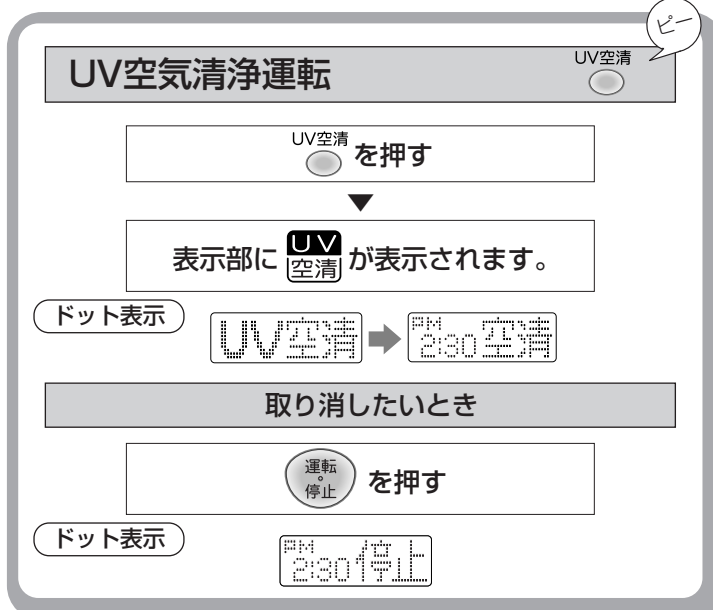
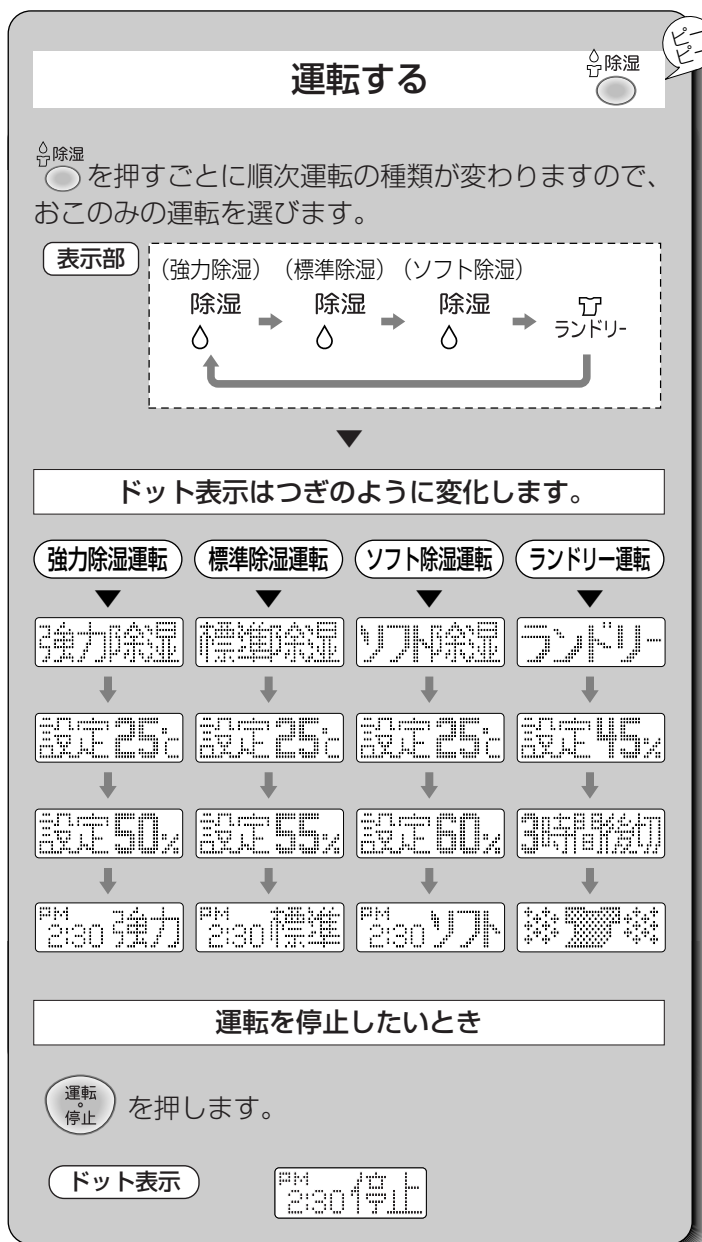
お部屋が乾きすぎるとき
ソフト除湿運転

パワフルな除湿をしたいとき
強力除湿運転

室内に干した洗濯物を乾かしたいとき
ランドリー運転

UV空気清浄運転

運転中、停止中にかかわらず、お部屋の空気をきれいにします。



室内ユニットのランプが点灯

- 運転ランプ
- UV・クリーンランプ
- イオンランプ(イオン入の場合)
- 給気または排気ランプ(状況に応じて点灯)
- UV・クリーンランプは30分間点灯、1.5時間消灯をくり返します。

- 除湿ボタンを押すはすべての運転に対して最優先します。
- お部屋の条件によっては、室温が下がる場合があります。

ランドリー運転時には

- 温度設定と風量切換はできません。
- 室内ユニットが確実に受信していることを確認してください。

湿度によって、ドット表示はつぎのようになります。

湿度	ドット表示
65%以上	※ 3時間後切
50~60%	※ 3時間後切
45%以下	※ 3時間後切

- 運転停止後は、もとの運転の種類および設定内容にもどります。
- 排気ファンが連動して換気を行います。

室内ユニットのUV・クリーンランプと排気ランプが点灯(30秒間)

詳しい説明 (26ページ)

室内ユニットのランプが点灯

- 運転ランプ
- UV・クリーンランプ
- イオンランプ(イオン入の場合)
- 給気または排気ランプ(状況に応じて点灯)

- 運転中、運転切替はできません。
- 運転停止後は、もとの運転の種類および設定内容にもどります。
- UV空清ボタンを押すはすべての運転に対して最優先します。

入タイマー・切タイマー

タイマー予約をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。

入タイマー

設定した時間に運転を開始します。

切タイマー

設定した時間に運転を停止します。



▼カバーを開ける

1

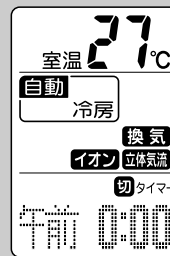
タイマー予約をする

「入」または「切」を押してください。
表示部が予約時刻表示になります。

入タイマー表示例



切タイマー表示例



2

予約時刻を設定する

「入」または「切」を押し、続けて予約時刻を設定します。
(▲すすむ、▼もどる) 時刻は10分単位で設定できます。押し続けると早送りになります。

- 予約後、「入タイマー」または「切タイマー」の点滅が点灯に変わり、設定が終了します。

入タイマー・切タイマーを組み合わせたとき

入タイマー・切タイマーをそれぞれセットする

ドット表示例



予約時刻を変更したいとき

「入」または「切」を押して時刻を変更する

予約を取り消したいとき

- 「取消」を押す
- 入タイマーまたは切タイマーのどちらかを取り消すときは、取り消したいほうのタイマーボタンを押してから「取消」を押す。

ドット表示



タイマーを毎日同じ時刻にお使いになるとき

- 「1回/毎日」を押す
表示部に「毎日」が表示されます。
もう一度押すと、1回だけの設定となります。



室内ユニットの
タイマーランプが点灯

- タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。

タイマーについて

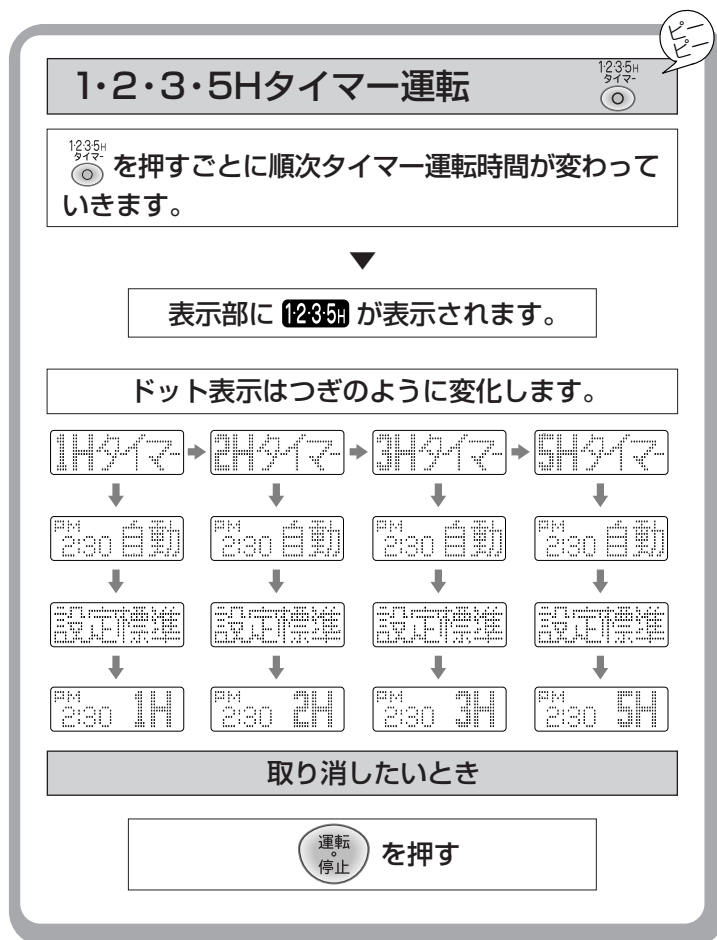
- タイマー予約中は、停止中でも風向・風量・設定温度の変更が可能です。入タイマー予約中に運転を停止しても、予約を取り消さない限り、設定時間になると運転を開始します。
- 「1回/毎日」で1回のみのタイマーを選ぶと切り忘れ防止として、入タイマーの設定時間後、25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。
- 併用換気運転中に切タイマーを設定し、設定時間になるとエアコン運転・換気運転とも停止します。
- 単独換気運転中に入タイマーを設定し、設定時間になるとエアコン運転が開始します。



- 組み合わせタイマーは現在時刻を基準にして、セット時刻が早いほうから先に作動します。

1・2・3・5Hタイマー運転

1・2・3・5Hタイマー運転
運転中、停止中にかかわらず、選択した時間
だけ運転しますので、
切り忘れの心配がありません。



- 1・2・3・5Hタイマー運転中に
1235H
タイマー を押すと、設定時間後に運
転を停止します。
- 切タイマー中に 1235H
を押すと、
設定時間後に運転を停止し、
切タイマーは取り消されます。
- 1・2・3・5Hタイマー運転と切
タイマーは、後押し優先になり
ます。
- 入タイマー中に 1235H
を押すと
1・2・3・5Hタイマー運転が優
先します。 1235H
で設定した時
間内に入タイマーの設定時間
がきた場合、入タイマーは
無視され、そのまま運転を
続けます。
- ランドリー運転時には、はた
らきません。
- 停止中に 1235H
を押すとUV・ク
リーンランプが点灯しますが、
運転30分以上経過後に 1235H
を押した場合には点灯しません。

UV・除菌クリーン運転/チャイルドロック/快眠運転

UV・除菌クリーン運転

暖房運転してエアコン内部を乾燥させ、カビの発生をおさえます。お部屋のお掃除のたびのご使用をおすすめします。

チャイルドロック

お子さまのいたすらや誤操作を防ぎます。

快眠運転

おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。通常よりもおさえた運転音で室温をコントロールします。



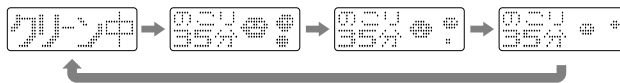
▼カバーを開ける

UV・除菌クリーン運転

UV・除菌
クリーン

停止中に **UV・除菌 クリーン** を押す

ドット表示はつぎのように変化し、1分ごとに残り時間を表示します。



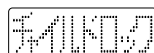
取り消したいとき

UV・除菌 クリーン をもう一度押す

チャイルドロック

チャイルドロック (2秒押す) を2秒以上、長押しする

ドット表示はつぎのように表示されます。



取り消したいとき

チャイルドロック (2秒押す) をもう一度、2秒以上長押しする

ドット表示はつぎのように表示されます。



快眠運転

快眠

運転中に **快眠** を押す

表示部に **快眠** が表示されます。

取り消したいとき

快眠 をもう一度押す



室内ユニットのUV・クリーンランプと排気ランプが点灯

UV・除菌クリーン運転について

- 弱風で暖房運転を行い、35分後に運転を停止します。
- 冷房・除湿運転直後のご使用が効果的です。
- 冷房・除湿運転直後には室温・湿度が上がります。
- お部屋ににおいが出てくる場合がありますので、窓やドアの開放や換気扇などで、換気をしてください。
- 運転中に“ピシッ”という音がしますが、異常ではありません。
- 運転中のリモコン操作は **UV・除菌 クリーン** のみ有効です。

くわしい説明

(27ページ)



- チャイルドロックにするとすべての操作ができなくなり、ボタン操作時には **チャイルドロック** と表示されます。
- 運転中にチャイルドロックにした場合、温度▲▼、風向、風量を押すと設定変更はできませんが、それぞれの設定確認をすることができます。



- 室内ユニットの表示ランプを減光します。(お部屋が明るいときは、ランプが見づらくなります。)
- 室内外ユニットの風量を自動的に下げ、運転時の送風音をおさえます。
- 1時間後の設定温度を冷房・除湿時は1℃高く、暖房時は3℃ (2時間後さらに4℃) 低くします。(除湿時、除湿能力をおさえた運転をするため、湿度表示が合わない場合があります。)
- ランドリー運転時には、はたらきません。

イオン切換／アンペア切換／応急運転

イオン切換

運転中に発生するマイナスイオンの入切を切り換えます。

アンペア切換

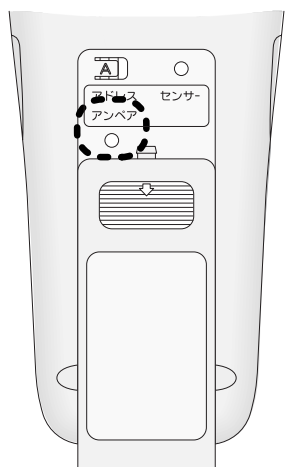
電気カーペットや電子レンジなど消費電力の大きい機器と併用するとき、ブレーカーを切れにくくする機能です。

応急運転

リモコンが見つからないときや、乾電池が切れているときに運転できます。



▼カバーを開ける



▼裏面のふたをスライド

イオン切換

イオン

イオン を押す

表示部に **イオン** が表示されます。

取り消したいとき

イオン をもう一度押す

アンペア切換

アンペア

アンペア
● を先の細いもので押す

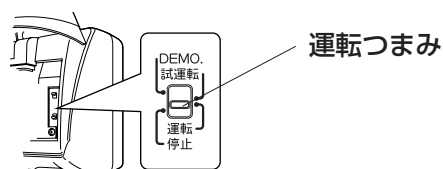
表示部に **A** が表示されます。

取り消したいとき

アンペア
● をもう一度押す

応急運転

本体の運転つまみを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置にもどす



停止したいとき

運転つまみを「停止」の位置にする

リモコン操作にもどすとき

運転つまみを「運転」の位置にして、リモコンで操作する



運転中は室内ユニットのイオンランプが点灯

- リモコンの初期設定はイオン入が設定されています。

- マイナスイオンは、マイナスイオン発生針から発生されます。



アンペア切換について

- 最大運転電流を下げ、能力をおさえた経済的な運転を行います。

設定電流		SAP -EX28P -EX36P -EX56P2	SAP -EX22P -EX25P -EX28P2 -EX36P2 -EX45P2
	表示なし	20A	15A
	A	15A	8A

- 夏の昼間や冬の夜間など、冷暖房能力が不足し、お部屋の温度が設定温度にならない場合にはもとの設定にしてください。



室内ユニットの運転ランプと、UV・クリーンランプが点灯

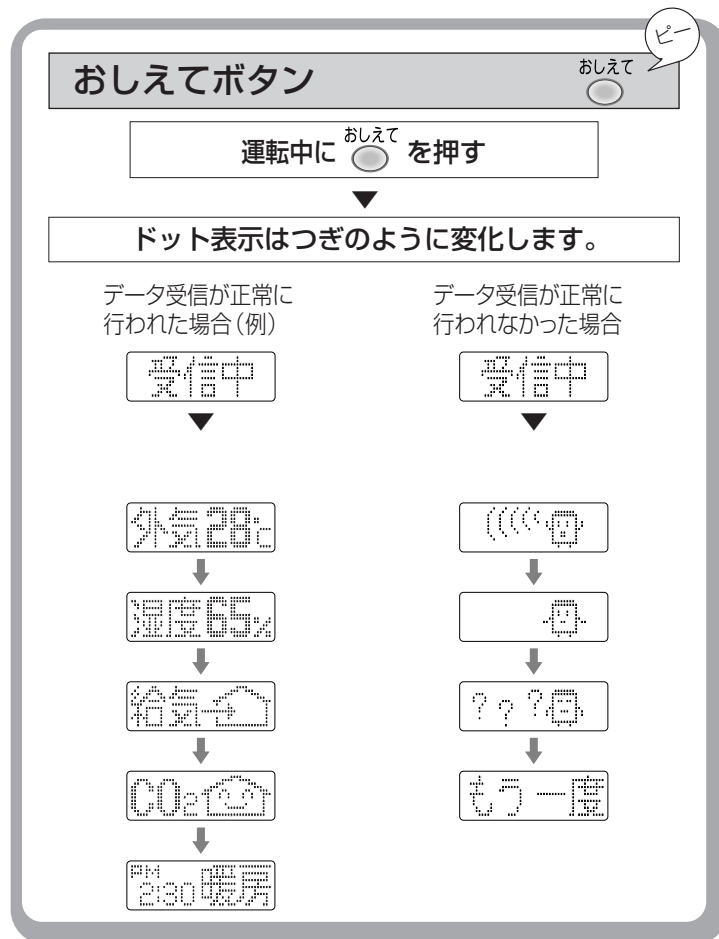
- UV・クリーンランプは30分間点灯、1.5時間消灯をくり返します。
- 運転の種類は自動運転になります。

(11ページ)

おしえてボタン

おしえてボタン

運転中の外気温度、お部屋の湿度・換気運転の給気・排気の運転状態、CO₂濃度を確認することができます。



- 運転中に **おしえて** を押すと、運転時の外気温度、部屋の湿度・換気運転の給気・排気の運転状態、CO₂濃度のデータを本体から受信し、ドット表示でお知らせします。

温度・湿度のドット表示範囲

外気温度	-19°C以上
部屋の湿度	40%~80% (5%刻みで表示)

上記以外では、▼マークが表示されます。

給排状態	ドット表示
監視※	換気 ↑ ↓ 換気
排気	排気 →
給気	給気 ←
停止	換気切

※自動換気が選ばれていてCO₂濃度が低いときは、給気・排気ランプは点灯しません。

CO ₂ 濃度	ドット表示
高	CO ₂ 120
中	CO ₂ 100
低	CO ₂ 80

- CO₂センサーは電源プラグをコンセントに差し込んでから1時間は機能しませんので、CO₂濃度の確認をすることができません。
- **もう一度** をくり返して正常に受信されないときは、受信状態を確認してください。
- ドット表示は上記のほかにつぎのような場合もあります。

温度	ドット表示
-19°C以下	外気 -19°C

湿度	ドット表示
80%以上	湿度 80%
40%以下	湿度 40%

- 停止中は、ドット表示部に **((()))** が表示され **おしえて** は機能しません。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に（掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。）

エアコン本体を掃除するときは停止する

- 掃除するときは必ず運転を停止にし、電源プラグも抜いてください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。



エアコンは直接水洗いをしない

- エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。



不安定な踏み台などは使用しない



エアコン内部にあるCO₂センサー、湿度センサーには、水などは絶対にかけない

- CO₂センサー、湿度センサーが正しく機能しなくなるおそれがあります。



シンナー・ベンジン・アルコール・中性以外の洗剤・40℃以上のお湯は、使用しない

- 変形・変色の原因になります。
室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。（故障や感電のおそれがあります。）

UV・除菌ユニットの中のUVランプが点灯中は、前面パネルを開けない



長期間使わないとき

- 暖房運転または空気清浄単独運転、UV・除菌クリーン運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。
- エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）、換気フィルターの汚れ具合を点検します。
- 運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- リモコンの乾電池を取り出します。

再び使い始めるとき

- リモコンの乾電池を入れてください。（9ページ）
- 電源プラグを入れてください。

確認してください

- エアフィルターと空気清浄フィルター（ご使用の場合）、給気フィルターは付いているか。
- 室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。
- 電源プラグやコンセントにホコリや汚れはないか。
- アース線ははずれていないか。
- ドレンホースの先端にゴミやホコリがつまっていないか。

エアコンのクリーニング依頼について

- エアコンのクリーニングをご依頼の場合は、必ずお買いあげの販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
当社推奨の洗浄剤以外のものでクリーニングすると、不具合が生じる場合があります。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について

- 市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用になる場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。（電装部品、樹脂の割れなど）
ご使用になるときは、洗浄剤メーカーにお問い合わせください。

お手入れのしかた

本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布でからぶきします。

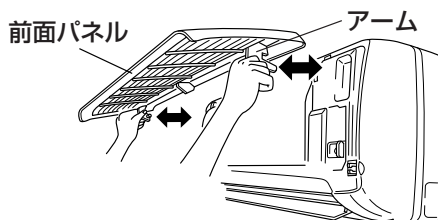
- 汚れがひどい場合は、水ぶきしてください。
リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。
- UV・除菌ユニットの表面などのエアコン内部に付いたホコリは、前面パネルを全開にした状態で、掃除機などで吸い取ります。
- 前面パネルは、取りはずして水洗いすることができます。

前面パネルの水洗いのしかた

1

前面パネルをはずす

前面パネルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引きます。(はずしにくい場合は、パネルの両端を持って行ってください。)



2

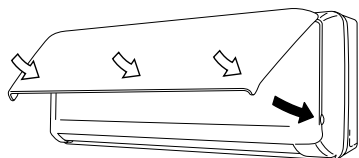
前面パネルを洗う

柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気を十分ふき取ってください。
汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

3

前面パネルの取り付け

前面パネルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみの上部に挿入し、突き当たるまで押して、はめ込みます。
前面パネルの両端を持ってパネルを閉じてから、矢印部分(↓)を押して固定します。



UV・除菌ユニット
(交換不要)
分解したり、水をかけたり、衝撃を加えるなどしないでください。

前面パネル

空気清浄フィルター

給気フィルター

フィルターケース

エアフィルター

お手入れのめやす

エアフィルター

2週間に一度をめやすに掃除してください。

空気清浄フィルター

空気清浄フィルターは水洗いすることができますので、3ヵ月ごとをめやすに行ってください。
また、交換のめやすは3年です。

給気フィルター

給気フィルターは水洗いすることができますので、2週間に一度をめやすに行ってください。
また、交換のめやすは半年です。

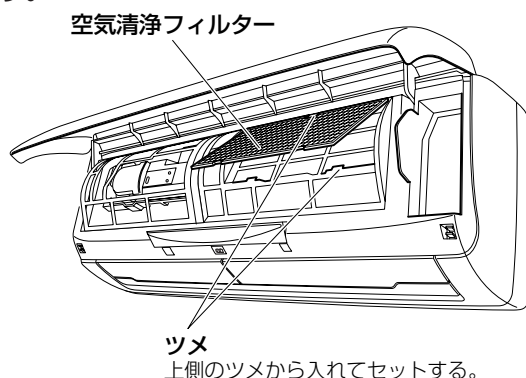
エアフィルターのお掃除

エアフィルターを取り出し、掃除機をかけてから水洗いします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

空気清浄フィルターの取り付け、交換、お手入れ

取り付け、または交換のしかた

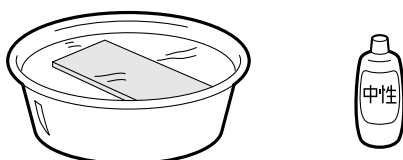
右側のエアフィルターを取り出してから、空気清浄フィルター取付位置のツメの下に入れて取り付けます。



お手入れのしかた

- ①掃除機（弱）でホコリを吸い取る。
- ②中性洗剤を500倍程度（※）のぬるま湯でうすめた中に、つけおき洗いを。 (洗剤のにおい残りを軽減するため、台所用洗剤をおすすめします。)

空気清浄フィルター：1～2分



※ 洗面器1杯に対して洗剤1～2滴程度

- ③軽くなで洗いや振り洗いをした後、水でよくすすぐ。
 - ④平らに置いて、室内乾燥する。
(タオルなどを下に敷くことをおすすめします。)
- 汚れ具合によっては、表面に黒ズミが残りますが、効果に影響はありません。

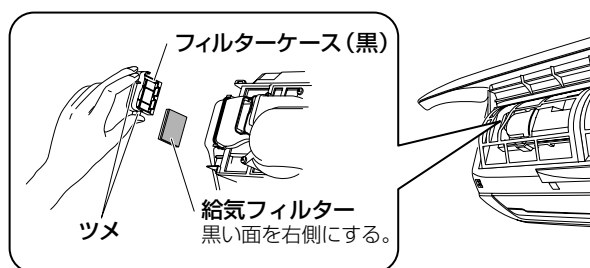
お願い

- 空気清浄フィルターのお手入れは、折り曲げたり、強い力を加えたりしないでください。
- 目づまりが取れにくかったりいたんだ場合は、空気清浄フィルターを交換してください。交換用の空気清浄フィルターおよび給気フィルターは、お近くの販売店でお求めください。
(形名は34ページの別売品を参照)
- 使用済みの空気清浄フィルターは燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。

給気フィルターの取り付け、交換、お手入れ

取り付け、または交換のしかた

左側のエアフィルターを取り出してから、フィルターケースのツメを持ってフィルターケースをはずします。
フィルターケースに給気フィルターの2枚（黒白）を重ねて取り付け、もとのようにもどします。



お手入れのしかた

給気フィルターのお手入れは、必ずフィルターケースに取り付けたまま行ってください。
ホコリをはらってから振り洗いをした後、日陰でよく乾かしてください。

- 運転時には、必ず給気フィルターを取り付けてご使用ください。
- 給気フィルターは2回分付属されていますので、残りの1回分は使用するまで袋から出さないでください。

お手入れのしかた (室内ユニット吹出口)

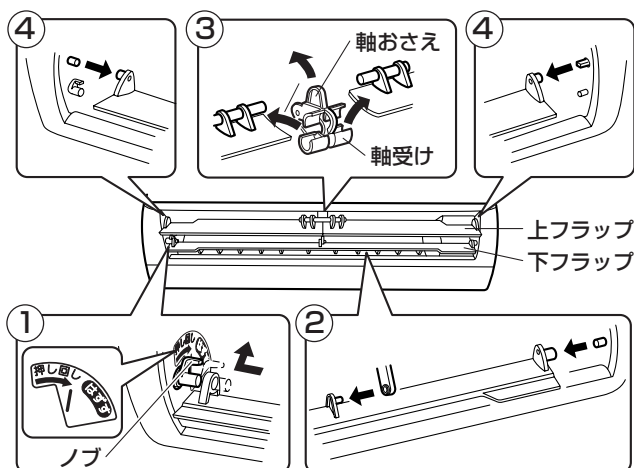
室内ユニット吹出口のフラップとたて羽根は、取りはずしてお手入れができます。

また、ファンなどエアコン内部のお掃除もしやすくなっています。

- 掃除するときは必ず運転を停止にし、電源プラグも抜いてください。また、ファンが停止していることを確認してください。

フラップ・たて羽根の取りはずしかた

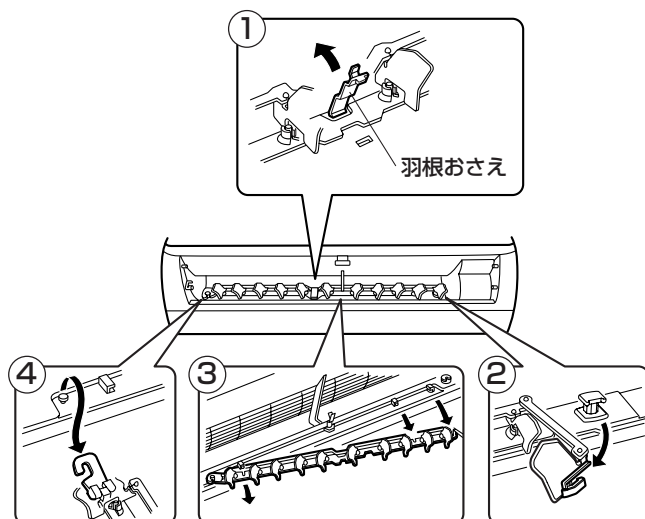
- 必ず下フラップから取りはずしてください。



1 電源プラグを抜き、フラップ（上・下）を下向きにする

2 フラップ（上・下）を取りはずす

- ① 下フラップの左端のノブ（黒）を左に押し回し、はずす位置に固定します。
- ② 下フラップを中央の支柱と右の軸からはずして取ります。
- ③ 軸おさえのつまみ（黒）を上へ押し、軸おさえが開いたら、上フラップの中央部を軸受けからはずして手前に引きします。
- ④ 上フラップをそれぞれの軸からはずして取ります。



3 たて羽根を取りはずす

- ① 中央の羽根おさえ（黒）をパチンと上にはずします。
- ② 右端の羽根（黒）を持って、手前に引いてはずします。
- ③ 右から2番目の羽根を持って、手前に引いてはずします。
- ④ 左端の引っ掛け部分から、たて羽根をはずします。

フラップ・たて羽根のお掃除

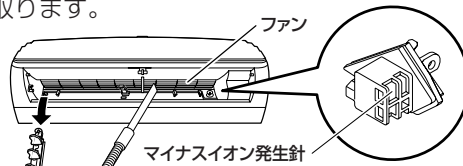
- 柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。また、水洗いすることもできます。

水洗いのしかた

- 柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気をじゅうぶんふき取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

エアコン内部のお掃除

- 掃除中は下フラップの左端のノブをもどさないでください。
- 柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。
- ファンの表面に付いたホコリは、掃除機などで吸い取ります。

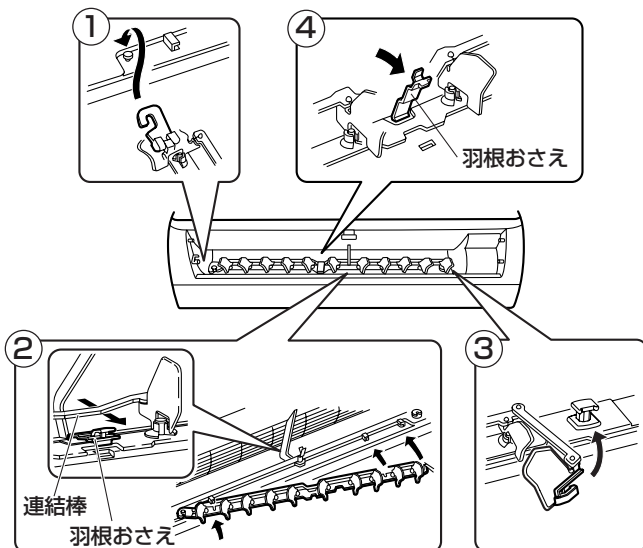


- マイナスイオン発生針に当たらないようにしてください。
- ファンの回転に注意し、ファンを傷付けないようにしてください。
- 目にゴミが入らないようにご注意ください。
- こびりついた汚れのひどいものは販売店にご相談ください。

フラップ・たて羽根の取り付けかた

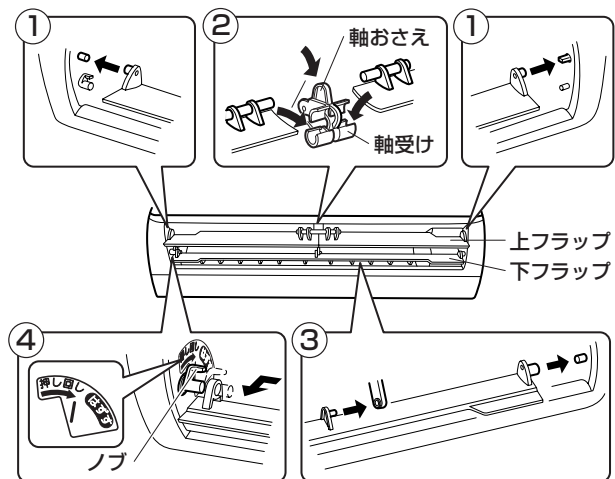
- フラップが正しく取り付けられていないと、すべてのランプが点滅して運転できません。必ず以下のとおりに行ってください。

上フラップの位置ずれや動作スピードは、左右でずれることがあります。異常ではありません。



1 たて羽根を取り付ける

- ① たて羽根の左端を引っ掛け部分にかけます。
- ② たて羽根を持って、室内ユニットのツメ3箇所にはめ込み、全体を確実に押し込みます。(このとき、羽根おさを羽根の連結棒の間にくぐらせるようにします。)
- ③ 右端の羽根(黒)を切欠きが奥になるように持って、レールにそってはめ込みます。
- ④ 羽根おさえ(黒)で留めます。



2 フラップ(上・下)を取り付ける

上フラップは左右の形状が異なりますので、左右を確認してください。

- ① 上フラップの端をそれぞれの軸にはめ込みます。
- ② 上フラップの中央部を軸受けにのせ、軸おさえ(黒)を閉じます。
- ③ 下フラップを中央の支柱と右の軸にはめ込みます。
- ④ 左端の軸(黒)に下フラップの穴位置を合わせ、ノブ(黒)を手前に押しもどして、下フラップを固定します。

3 電源プラグを差し込む

マイナスイオン発生針のお手入れ

汚れが付いたら行ってください。

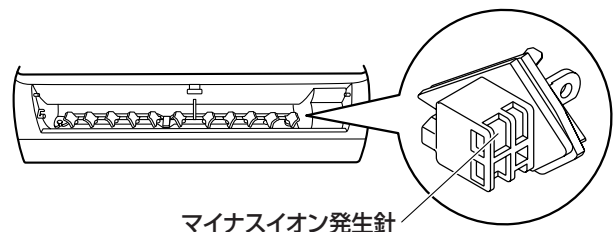
- 準備 ● リモコンで、必ず運転を停止する。
● 電源プラグをコンセントから抜く。

1 フラップ(上・下)を取りはずす

2 マイナスイオン発生針のホコリを取る

- 先端を歯ブラシなどでこすってください。
- 針の周辺は綿棒などで掃除してください。

3 フラップ(上・下)を取り付ける



- ご使用になるうちに、マイナスイオン発生針などの金属部が変色することがありますが、異常ではありません。また、マイナスイオン発生針周辺が汚れ、そのまま放置されるとブツブツ音がしますので、ただちに掃除してください。
- お手入れの際には、無理な力を加えないでください。

知っておいていただきたいこと

ヒートポンプ方式エアコンについて

- 外気の熱を室内にくみ上げて暖房する方式です。外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下しますが、インバーターのはたらきにより、圧縮機の回転数を上げ、その能力の低下を防いでいます。急速に室温を上げる場合や寒冷地など、とくに外気温度が低い場合には、他の暖房機器との併用をおすすめします。
- お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖まるまでしばらく時間がかかります。
- 冷媒はR410Aを採用しています。

運転条件

暖房時	外気温度	約24℃以下
冷房時	外気温度	約21℃以上 43℃以下
	部屋の温度	約21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	約80%以下
除湿時	外気温度	約1℃以上 43℃以下
	部屋の温度	約13℃以上 32℃以下
	(ランドリー運転時)	約1℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	約80%以下
	(ランドリー運転時)	約45%以上

- 上記以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。
- つゆどきなど湿度の高いときに運転すると、霧が吹くことがあります。この場合は設定温度を上げてください。また、長時間冷房・除湿運転すると、エアコンの表面に露が付く、滴下することがあります。これは、エアコンの能力に対して大きめの適さないお部屋で運転した場合も同様です。このような場合はタオルなどでふいてください。
- エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）が汚れていると水とび、水漏れの原因になりますので、ご注意ください。

こんなときは運転を停止して電源プラグを抜く

- 長期間使わないとき
- 落雷のおそれがあるとき
電気回路の焼損を防ぐためにも、雷が鳴りだしたら早めに停止し、電源プラグを抜いてください。
- お手入れのとき
- 故障と思われるとき

運転時のニオイカット機能について

- 冷房・除湿運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、フラップはスイングしません。これは、エアコンに付着したいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです。

暖房時の霜取機能について

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するので、自動的に霜取機能がはたらき（約2～12分間）、運転ランプが赤色と橙色に交互に点灯し、室内ファンが止まります。霜取りが終了すると、再度運転を開始します。
- 霜取中に運転を停止した場合、霜取運転は継続します。霜取運転終了後、自動的に運転を停止します。

暖房時の高負荷防止について

- 温度条件や、エアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては、能力をおさえた運転や室外ユニットが停止したりすることがあるため、設定温度にならない場合があります。

暖房時の冷風防止機能について

- 運転開始時や除霜後の風量は、微風運転または停止（室温が15℃未満、または室内熱交温度が20℃未満）になります。吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。
- 室温が設定温度に到達後など、室内ユニットの熱交換器温度が低くなった場合は、風量が低下したり微風運転になります。
- 外気温度や室温によって、フラップの動作（⑥の位置）が解除するまでの時間（最長13分後）は変化します。

暖房運転停止時の除霜について

- 運転停止後、つぎの暖房運転に備えて室外ユニットに付着している霜を取り除くため、室外ユニットが運転を続けることがあります。このとき、運転ランプは消灯します。

凍結防止機能について

- 冷房・除湿運転時、温度条件やエアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に能力を下げた運転をしたり、さらには室外ユニットの運転を停止させる機能です。

冷房時の湿度上昇について

- 冷房運転は室温設定を重視していますので、設定温度になると負荷の軽いときは湿度が上がる場合があります。また設定温度に近づくと、ドレン水が出なくなることがありますが、異常ではありません。
- 自動運転の冷房選択時、室温が設定温度に近づき湿度が高い場合は除湿運転になりますので、極端な湿度上昇はありません。またこのとき、一時的に温湿度が設定からずれることがありますが、異常ではありません。

エアコンのくわしい説明

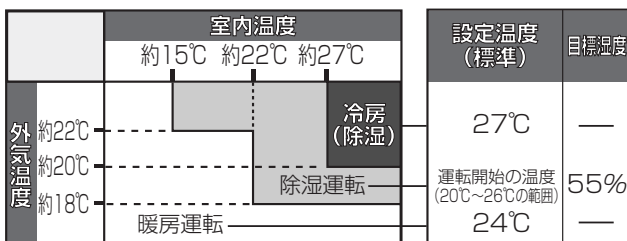
この説明書の前の部分では、運転に必要な操作手順を中心に説明しました。それぞれの機能の、よりくわしい説明を以下に解説します。

運転切換について

- 運転中に^①運転切換を押すと、運転が3分間停止し、その後おこのみの運転を開始します。
- 風量は自動に、風向（上下）は風向自動時のフラップ位置、風向（左右）は前回の位置になります。

自動運転では

- 室内・外ユニットの温度センサーが、暖房・除湿・冷房運転を自動的に選択します。
（運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。ただし、タイマー予約中は停止に含まれません。）
- 冷房が選択されたとき、室温が設定温度に近づき、お部屋の湿度が高い場合（約65%以上）は除湿運転になります。



- 温度・風向・風量も自動的に設定されますが、風向および風量をおこのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。

除湿関連について

- 室温が13℃以上、外気温度が1℃以上のときにご使用ください。（ただし、ランドリー運転時は室温が1℃以上）
- 湿度が低いときや設定温度が高いときには、コンプレッサが運転しないことがあります。
- 運転停止後には、室外ファンが数分後に止まります。
- 運転中の室外ファンは外気温度などにより、低速運転や停止する場合があります。
- 除湿から冷房に切り換わったときは、4分間コンプレッサが停止します。
- 除湿ボタンで、切り換えを行ったとき、ランドリーを通過した選択をすると、コンプレッサが3分間停止します。
- 自動・暖房・冷房・空気清浄単独などの運転中に^②除湿を押すと、コンプレッサが3分間停止します。

（つぎの内容は異常ではありません）

- 風量自動時は、除湿能力に応じて風量が変化します。
- 室内ユニットから「シュー」「ヒュー」という冷媒音や、室内ユニット切替弁の音が出る場合があります。
- 冷房運転から除湿運転に切り換えたときは、熱交換器に付いた露が一時的に蒸発するため、霧が吹くことがあります。

再熱除湿方式について

- 除湿運転時、室温が設定温度より高い場合は冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づくと湿度優先の除湿運転を行います。
- 外気やお部屋の条件によっては、室温や湿度が合わない場合があります。

除湿運転では

- 室温が設定温度より高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づくと除湿運転になります。
- 除湿運転では、お部屋の状況に応じて室外ファンの回転数や圧縮機の運転レベルを変化させ、強力除湿運転では湿度50%、標準除湿運転では湿度55%、ソフト除湿運転では湿度60%を目標とした運転を行います。
- 在室人数、お部屋の状況、外気温度によっては、設定温度、目標湿度に到達しなかったり、室温が上下することがあります。
- 運転中に室温が設定温度より著しく低下した場合は、除湿能力をおさえた運転をするため、設定湿度にならないことがあります。
- 室内・外温度が24～30℃でお使いいただくと、効果的です。
- お部屋の温度が上がると、コンプレッサが3分間停止し、その後冷房運転に切り換わります。
- 発生したカビを取り除くはたらきや、殺菌効果はありません。すでに結露したものを除去するものではありません。
- お部屋の温度を上げるはたらきはありません。

お願い

- 冷房・除湿時にエアフィルターや空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまりで露がとんだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）を交換してください。

ランドリー運転では

- ランドリー運転時は、湿度45%を目標に、お部屋に干した洗濯物を乾燥させる機能です。
- 冷房シーズンは除湿を連続して行います。
暖房シーズンは暖房と除湿のくり返し運転となります。
- 運転開始後、約3時間で自動的に停止します。
洗濯物の量やお部屋の条件により、洗濯物が十分に乾かない場合があります。洗濯物の乾き具合が不十分な場合は、再び運転をしておこなってください。
- タイマー予約、1Hタイマー運転との併用はできません。
- フラップは初期設定では①～⑥の位置をスイングします。
- 外気温が低いときには、窓に結露することがあります。
- ランドリー運転中は、強制排気運転と連動します。
- 本体と通信できない場合のリモコン表示は「ランドリー」になります。

エアコンのくわしい説明

空気清浄単独運転では

- 風量、風向（上下・左右とも）が自動の場合には、風量は「弱」、上フラップは交互にスイングし下フラップは下向きになり、たて羽根もスイングになります。
- 風量、風向は  を押して変更できます。
- 通常運転中にも、空気清浄機能がはたらいています。
（空気清浄フィルターをご使用の場合）

アドレス切換について

- 弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。通常はAにセットしていますので、アドレス切換が必要な場合は、以下の手順で行ってください。また、3台以上のときはお買いあげの販売店にご相談ください。
- ① リモコン裏面のふたを開け、アドレス切換のツメを折ってBに切り換える。
- ② リモコンに乾電池を入れて、ふたを付ける。
- ③ 室内ユニットの前面パネルを開けて、運転つまみを「DEMO.」の位置にする。
- ④ リモコンの  を押し、室内ユニットから“ピー”と受信音が出ることを確認する。
- ⑤ 運転つまみを「運転」の位置にして、前面パネルを閉じる。
- ⑥ リモコンを操作し、室内ユニットから“ピー”と受信音が出ることを確認する。

UV・除菌クリーンシステムについて

- このシステムは、運転開始時にホコリが出るのをおさえる「UV・除菌ホコリカット機能」、運転停止後にエアコン内部のカビの発生をおさえる「UV・除菌カビガード機能」、運転停止中に行う「UV・除菌クリーン運転」の3つの機能により、室内ユニット内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。また、それぞれの機能が動作中には、UVランプが点灯します。
- 室内ユニット内部にあるUV・除菌ユニットの、除菌フィルターのはたらきによって除菌します。
- 運転開始時にはUV・除菌ユニットが作動し、30分間UVランプが点灯します。さらにUV・除菌ユニットを効果的に発揮させるために、1.5時間経過したのち再び30分間UVランプが点灯し、運転中はランプの点灯・消灯をくり返します。（UVランプを目視することはできません。）
- UV・クリーンランプが点灯中は、前面パネルを開けないでください。
- お部屋の明るさによっては、UVランプの光がエアコン内部に反射して見えることがありますが、異常ではありません。
- お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているカビやホコリを取ることはできません。

ニオイカット、UV・除菌ホコリカット、UV・除菌カビガードの作動の有無について

	風向 設定	風量 設定		運転開始時		停止後
				ニオイカット	UV・除菌ホコリカット	UV・除菌カビガード
冷房・除湿	自動	自動	作動の有無	○	○	○
			たて羽根の動き	前回の位置	いったん右最大向きから設定位置にもどる	いったん左向きから設定位置にもどる
			フラップの動き	風向自動の位置	⑥より上	送風運転後に閉じる
	手動	自動	作動の有無	○	—	○
			たて羽根の動き	前回の位置	—	いったん左向きから設定位置にもどる
			フラップの動き	可動範囲の位置設定	—	送風運転後に閉じる
暖房・空気清浄	自動	自動	作動の有無	—	○	○
			たて羽根の動き	—	いったん右最大向きから設定位置にもどる	いったん左向きから設定位置にもどる
			フラップの動き	—	⑥より上	送風運転後に閉じる

UV・除菌ホコリカット機能

- 風向自動・風量自動時の運転開始時に30秒間、UV・除菌ユニットと排気ファンが作動し、運転開始時のホコリが出るのをおさえるため弱風で運転し、エアコンから吹き出す風を本体にもどすエアショートが発生させ、室内ユニットに付いたホコリをフィルターで取りのぞきます。この間、UV・クリーンランプと排気ランプが点灯します。
- 冷房・除湿運転時ではニオイカット、暖房運転時では冷風防止機能が優先し、その後機能します。

UV・除菌カビガード機能

- 停止後、室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、UV・除菌ユニットと排気ファンが30秒間弱風で送風運転をし、フラップはファン停止後に閉じます。（運転ランプは消灯し、UV・クリーンランプと排気ランプが点灯）

UV・除菌クリーン運転

運転可能条件

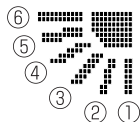
外気の温度	1～43℃
部屋の温度	13～32℃

- 外気または部屋の温度が高いときは、保護装置がはたらくことがあります。
- 室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、停止中に  を押すと、UV・除菌ユニットと排気ファンが35分間運転します。（運転ランプは消灯、UV・クリーンランプと排気ランプが点灯）
開始後10分間は送風運転で熱交換器に付着している水分を室外に除去し、残りの25分間は暖房運転で蒸発・乾燥を行います。またこの間、熱交温度と外気温度によっては、送風運転になります。
- 運転の途中で取り消したり外気温度によっては、室内ユニット内部が十分乾かないことがあります。
- たて羽根は、開始後の25分間は④の位置になり、その後10分間は右最大曲げ角度になります。
またフラップは、開始後の25分間は⑥より上の位置、その後10分間はさらに上の位置になります。
- お部屋の温度や外気温度によっては、窓や壁などに結露することがあります。
- 運転時は強制排気運転になります。

フラップ可動範囲について

- 風向調節時、フラップの動作は右ようになります。
- スイング時、上フラップは左右交互に動き、下フラップはわずかに動きます。

フラップの位置



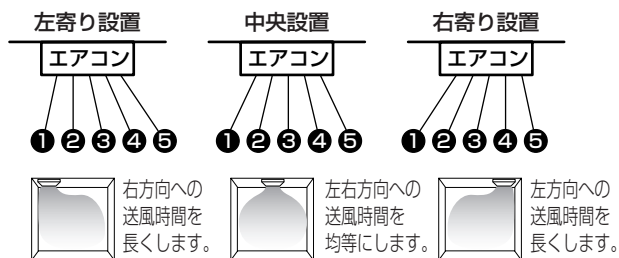
	可動範囲	風向自動時の フラップ位置	スイング 範囲
自動運転（暖房）	③～⑥	②	①～④
自動運転（冷房・除湿）	③～⑥	⑥	③～⑥
暖房運転 空気清浄単独運転	①～⑥	②	①～④
冷房・除湿運転	③～⑥	⑥	③～⑥
ランドリー運転	③～⑥	①～⑥	①～⑥

イオン立体気流制御について

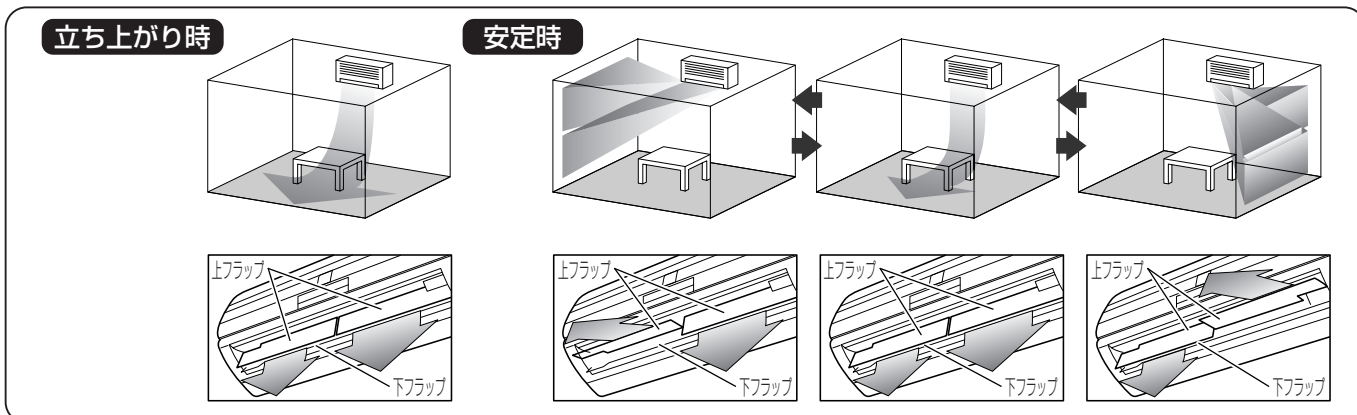
- 風向自動時（上下・左右とも）にはたらき、運転の種類とエアコンの据付位置によって、フラップとたて羽根が立ち上がり時と安定時の2段階に変化します。
- 立ち上がり時、フラップは風向自動時のフラップ位置で運転し、たて羽根は③の位置になります。
- 室温が安定して設定と同じになってから30分維持すると、上下3枚のフラップとたて羽根が、いずれかの位置で効果的に連係制御し立体的な風を作り出すことで、マイナスイオン（イオン入のとき）と冷温風をお部屋にムラのないように届けます。
- たて羽根の位置によって、上フラップが下図のように動きます。

- お部屋のエアコン据付位置に合わせて設定することにより、たて羽根のスイング範囲と送風時間を調整し、設定位置に応じた気流制御を行います。

たて羽根の位置



(例) 暖房時 中央設置の場合



- 設定温度と室温の差が開いた場合はイオン立体気流制御は解除され、安定時から立ち上がり時の位置にもどります。
- イオン立体気流制御を解除したい場合は、風向（上下・左右いずれか）を自動以外にしてください。

- 暖房時は冷風防止機能により、風量の変更ができないことがあります。これは冷風感を与えないように配慮しているためです。
- リモコンのセンサー切替を本体センサーでご使用の場合は、室温表示が設定とずれることがありますが、異常ではありません。
- 設定温度に達して冷風防止機能がはたらいている場合や、風量自動での運動時は風量が低下することがありますが、異常ではありません。

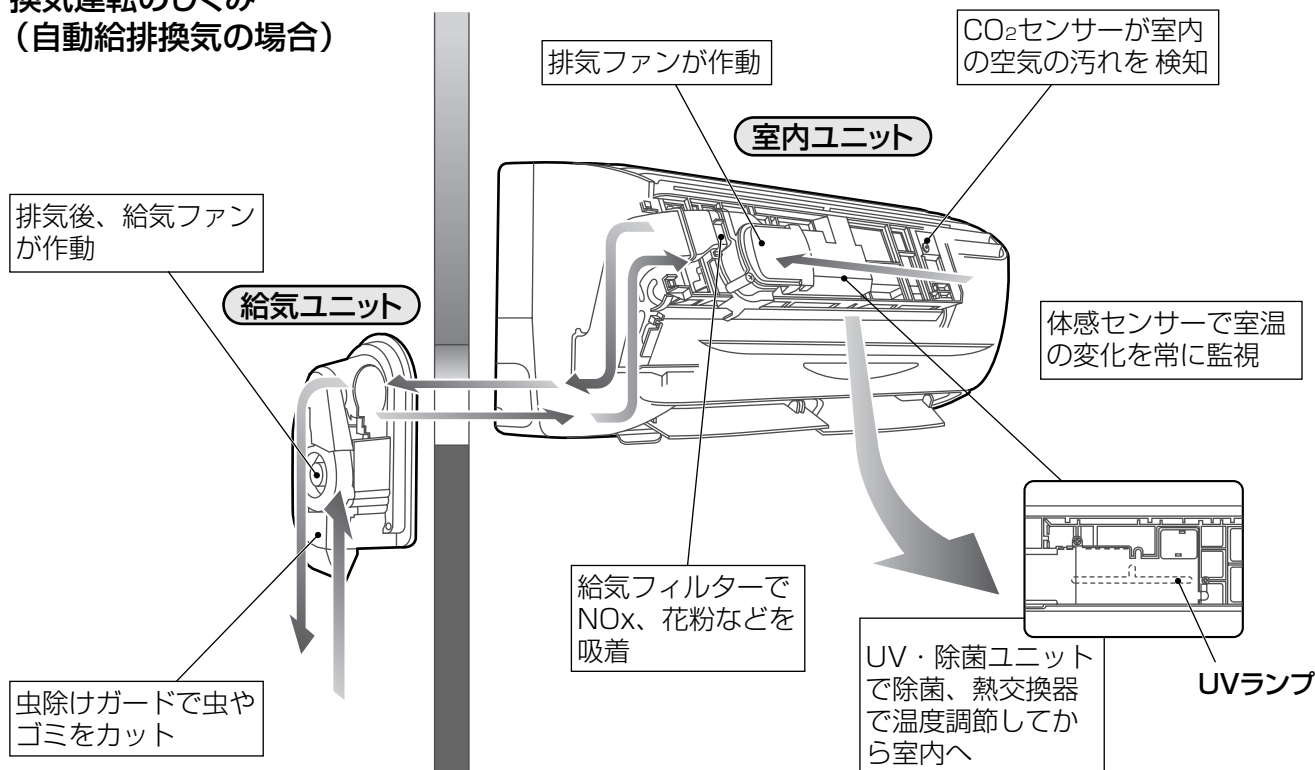
- フラップとたて羽根の動作範囲は右ようになります。
- 上フラップの2枚が、上図のように左右交互に動きます。
- 空気清浄単独運転時とランドリーの暖房時は、安定時の暖房と同じになります。
- ランドリーの除湿時は、安定時の冷房と同じになります。

	運転の種類	据付位置	上フラップ動作	下フラップ動作	たて羽根動作
立ち上がり時	暖房	中央	②	②	③
		右	②	②	③
		左	②	②	③
	冷房・除湿		⑥	⑥	③
安定時	暖房	中央	②～③	②	①～⑤
		右	②～④	②	①～⑤
		左	②～④	②	①～⑤
	冷房	中央	④～⑥	④～⑥	①～⑤
		右	④～⑥	④～⑥	①～⑤
		左	④～⑥	④～⑥	①～⑤
	除湿		⑥	⑥	①～⑤
			⑥	⑥	①～⑤

エアコンのくわしい説明

換気運転について

換気運転のしくみ (自動給排換気の場合)



- 通常使用としておすすめの「自動換気運転」、連続で換気運転ができる「強制換気運転」、また「換気 切」のいずれかに設定できます。さらに給気・排気どちらも行ふ「給排運転」、「排気運転のみ」「給気運転のみ」の3種類の運転から選べます。
- 給排運転では、1時間30分の排気運転と新鮮な外気を取り入れる給気運転を30分間交互に行うことで、お部屋の中の空気を入れ換えます。
- 排気運転では、空気清浄フィルターだけで取りきれないCO₂やVOC（ホルムアルデヒド等）を屋外に排出します。
- 給気運転では、まず屋外の給気ユニットの虫除けガードで虫やゴミの侵入を防ぎ、室内ユニットの給気フィルターでNO_x（窒素酸化物）や花粉などを吸着し、さらにUV・除菌ユニットでは細菌を不活化した新鮮な外気を熱交換器を通して、室温に影響を与えない温度にしてお部屋に入れます。（ただし、外気0℃以下では運転しません。）

自動換気運転

- 単独換気運転時には^{換気}を押すとフラップは⑥、たて羽根は③の位置、風量は微弱になります。その後、おこのみの風向・風量に変更できます。（範囲は空気清浄単独運転と同じです。）
- 「自動給排」「自動排気」「自動給気」が選択できます。室内ユニットのCO₂センサー※がお部屋のCO₂濃度を見張り、濃度が上がるとCO₂センサーが検知して、自動的に換気運転を行います。（ただし、CO₂センサーは電源プラグをコンセントに差し込んでから1時間は機能しませんので、室内ファンが停止した監視状態になります。）
- 冷房シーズンはお部屋の温度が高いとき、暖房シーズンは低いときに運転します。

※ CO₂（二酸化炭素）は全般的な室内空間の空気汚染を評価する1つの指標とされています。

強制換気運転

- お部屋のCO₂濃度に関係なく、生活シーンや季節に応じて「強制給排」「強制排気」「強制給気」を選択し、お部屋の中に新鮮な空気を保つことができます。

ご注意

- お客さまのご都合によって、給気ユニットを取り付けられなかった場合には、給気はしません。
- 一般の換気扇のような大きな換気効果はありませんので、ニオイの強い場所でお使いになる場合は、ニオイが残ることがあります。
- 燃焼器具といっしょに運転するときは、エアコンの換気機能だけでは不十分場合があります。窓を開けたり、換気扇で換気してください。
- 室内外の温度・湿度によっては、エアコン内部保護のはたらきや外気により、給気運転しない場合があります。

エアコンを上手に使うコツ

窓にはブラインドやカーテンを

夏の日差しや冬の寒さを上手に防いで、冷暖房効果をアップ。ブラインドで約15%、カーテンでは約50%、日射量を減らすことができます。



エアフィルターはまめにお掃除を

エアフィルターが汚れると冷暖房効果が落ち、電気代が約6%ムダになります。また、異常音が発生したり、吹出口に露が付くことがあります。2週間に一度をめやすに掃除してください。

快適な冷房（暖房）温度で効率よく省エネを

冷房時、室温と室外の温度差は約5℃以内が最適です。設定温度を1℃上げると（暖房時は2℃下げると）約10%も電気代が節約できます。

上手に活用 タイマー運転

タイマーを上手に使い、電気代も節約できます。



故障かな？

修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

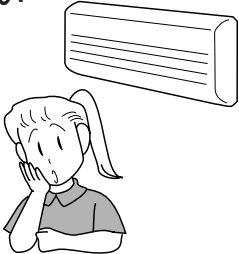
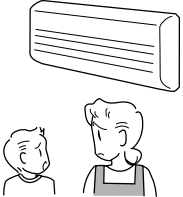
これは故障ではありません。

すぐに運転しない		● 電源を入れた直後や再運転時、また運転中に(運転切換)を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない		● 運転停止後にエアコン内部を乾かすため、UV・除菌カビガード機能がはたらくためです。 ● 暖房運転停止後、室外ユニットに付着している霜を取り除くためです。
すぐに風が出ない		● 冷房・除湿運転開始時は二オイカット機能がはたらくためです。(風量自動のとき) ● 暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。(25ページ)
音がする	水の流れるような音	● エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。(シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど)
	ピシッという音	● エアコン内部のスイッチ作動音、あるいはUV・除菌クリーン運転中などに温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	ブシューンという音	● 霜取装置がはたらいたとき発生する音です。
	コン、カチッという音	● 除湿運転時、室内ユニットの切換弁が作動する音です。
	室外ユニットからの音	● 運転開始時、膨張弁が作動する音です。
いやなにおいがする		● 壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
室外ユニットから水・湯気が出る		● 暖房時、室外ユニットに付着した水および霜取運転で発生する湯気やとけた水が出るためです。 ● 冷房時、バルブや配管が冷やされ露が付着し、滴下することがあります。
熱交換器が変色している		● 熱交換器の右端が変色していますが、これは溶接によるもので、異常ではありません。

故障かな？（つづき）

風量が切り換わらない	● 除湿運転時や暖房運転開始時、またUV・除菌クリーン運転中には風量は切り換わりません。 ● 運転中に^{運転切換}を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。 ● 風量自動で運転開始時はUV・除菌ホコリカット機能がはたらくためです。 (27ページ)
湿度が下がらない 湿度が合わない	● 室内の温度が低い場合に、除湿量が少なくなるためです。 ● 冷房運転から除湿・ランドリー運転に切り換えた場合は、熱交換器に付いた露が蒸発し、一時的に湿気もどりがあがるためです。 ● 冷房・暖房運転時は設定温度での調節のため、湿度表示が合わないことがあります。
室温が上がらない	● 除湿運転時、室温の上昇は外気やお部屋の熱を利用しますので、外気が低いときや室内の熱量が少ないためです。 ● 除湿運転時は、室温を上げる機能はないためです。
室温が下がらない 室温が下がりすぎる	● 除湿運転時は湿度優先の運転を行うため、室外の温度条件によっては、室温が下がらないことや下がりすぎることがあります。
テレビ、ラジオなどに ノイズが入る	● アースをとらないと、ノイズの原因となりますので、必ずアースをとってください。
ほかのエアコンも 信号を受けてしまう	● 弊社エアコンを2台以上隣接設置するときはリモコンの混信をすることがありますので、アドレス切換を行ってください。 (27ページ)

こんなときは再度ご確認ください。

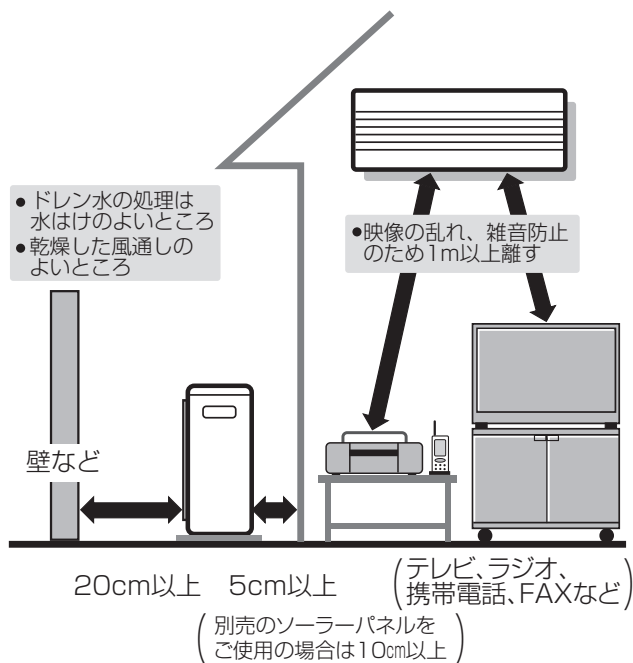
運転しない 	● 停電ではありませんか？ エアコンは停止したままです。通電後にあらためて運転操作をしておしてください。 ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ● ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ● リモコンの乾電池が切れていませんか？ ● リモコンの乾電池の＋が逆になっていませんか？ ● 本体操作部の運転つまみが、運転以外の位置になっていませんか？ ● フラップまたはたて羽根が正しく取り付けられていますか？
よく暖まらない よく冷えない 	● 設定温度が高かったり(冷房時)、低く(暖房時)になっていませんか？ ● リモコンの信号は届いていますか？ (9ページ) ● 窓や戸が開いていませんか？ ● 換気扇が回っていませんか？ ● エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）は汚れていませんか？ ● 室外ユニットのまわりに障害物はありませんか？
すべてのランプが点滅する	● フラップが取り付けられていますか？ (24ページ)
室内ユニットから水が吹き出し たりポコポコ音がする	● ドレンホースは、確実に排水するように配管してありますか？

お買いあげの販売店にご連絡ください。

ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。 	● 運転音が異常に高くなった。 ● 室内ユニットから水が漏れる。 ● 架台や吊り下げなどの取付部品が腐食したりゆるんでいる。 ● 電源コードやプラグが異常に熱い。 ● こげくさいにおいがする。 ● ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
---	---

設置について

設置場所



こんな場所は避けてください。

- 高周波ノイズを発生する機器のあるところ
- 水や油の蒸気にさらされるところ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- 海浜地区など、塩分の多いところ
(耐塩害仕様機種は除く)
- 温泉など、硫化ガスの発生するところ
- 吹出風が、動植物などに直接当たるところ
- 室外ユニットが水平に設置できないところ
- 天吊架台をご使用の場合、洗濯物を干すところの上
- 室内外ユニットの排水口をさまたげるところ

設置にあたっては電波障害へのご配慮を！

- 室外ユニットは、テレビ、ラジオなどから3m以上離してください。
- 電波の弱い地域において、テレビ用の増幅器を使用しているとき、まれにテレビにノイズが入ることがあります。この場合は増幅器の位置を変えてみてください。

電気工事

- 専門の技術が必要となりますので、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 据付工事説明書に基づいて工事をしてください。
- 電源は定格電圧で、エアコン専用の回路をご使用ください。コンセントの工事が必要な場合は、本体のプラグに合わせて工事をしてください。
- 設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要となります。
- アース工事は室内または室外ユニットどちらか一方で必ず行ってください。とくにインバーターエアコンは、高周波による帯電やノイズを逃がすためにも、アースが必要です。アースをとらないと電気を感じることがあります。なお、他の機器のアースとは2m以上離し、併用はしないでください。
- コンセントは新しいものを使用してください。古いと電氣的接触が不十分で思わぬ事故になることがあります。
- 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。

設置にあたっては騒音にもご配慮を！

- エアコンの重量にも十分耐え、騒音や振動が増大しないようなところ、室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないようなところをお選びください。
- 吹出口近くにものを置くと、機能低下や騒音の原因になります。

移転について

- 転居・増築などでエアコンを取りはずしたり、再び設置する場合は、専門の技術（ポンプダウンやエアパージなど）が必要となります。移転の際には、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- 他社のエアコンを弊社のものに変えるときは、配管・冷凍機油はそのまま使用しないでください。また、古い配管も使用しないでください。
- 転居の場合、50Hz・60Hz共用ですので、そのままご使用になれます。
- 新冷媒R410A用の冷凍機油はR22用とは異なり、これが少量でも混入すると、不純物を生成し冷媒回路が故障する原因となりますので、絶対に避けてください。

仕様

室内・室外の組み合わせ形名				室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
				SAP-EX22P	SAP-CEX22P	SAP-EX25P	SAP-CEX25P	SAP-EX28P	SAP-CEX28P	SAP-EX28P2	SAP-CEX28P2
種 類				スプリット形 冷房・暖房兼用							
電 源				単相100V 50/60Hz						単相200V 50/60Hz	
暖 房	能力	kW		2.8(0.1~5.5)		3.2(0.1~5.7)		3.6(0.1~7.3)		3.6(0.1~8.0)	
	運 転 電 流	A		5.1		6.1		6.4		3.2	
	消 費 電 力	W		460(50~1,290)		555(50~1,300)		605(50~1,900)		625(50~2,205)	
	期 間 消 費 電 力 量	kWh		582		676		760		805	
	運 転 音	dB		42	44	43	44	44	45	44	45
	エネルギー消費効率	—		6.09		5.77		5.95		5.76	
房	暖房面積の 目安 (㎡)	鉄筋アパート 南向き洋室	13		15		16		16		
		木造南向き和室	10		12		13		13		
冷 房	能力	kW		2.2(0.1~3.2)		2.5(0.1~3.4)		2.8(0.1~3.9)		2.8(0.1~3.9)	
	運 転 電 流	A		4.1		4.8		5.1		2.6	
	消 費 電 力	W		360(50~695)		430(50~825)		475(50~980)		500(50~980)	
	期 間 消 費 電 力 量	kWh		158		182		205		223	
	運 転 音	dB		40	43	41	43	43	44	43	44
	エネルギー消費効率	—		6.11		5.81		5.89		5.60	
房	冷房面積の 目安 (㎡)	鉄筋アパート 南向き洋室	15		17		19		19		
		木造南向き和室	10		11		13		13		
期 間 消 費 電 力 量		kWh		740		858		965		1,028	
冷暖平均エネルギー消費効率		—		6.10		5.79		5.92		5.68	
外 形 寸 法 (高さ×幅×奥行)	室内	mm		305×860×259(据付後262)							
	室外	mm		565×790×285							
製 品 質 量		kg		13.0	36.0	13.0	36.0	13.0	36.0	13.0	38.0
運転/停止ボタンで停止時の消費電力		W		0.8						0.95	

室内・室外の組み合わせ形名				室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
				SAP-EX36P	SAP-CEX36P	SAP-EX36P2	SAP-CEX36P2	SAP-EX45P2	SAP-CEX45P2	SAP-EX56P2	SAP-CEX56P2
種 類				スプリット形 冷房・暖房兼用							
電 源				単相100V 50/60Hz		単相200V 50/60Hz					
暖 房	能 力	kW		4.8(0.1～7.7)		4.8(0.1～8.8)		6.7(0.2～9.5)		7.1(0.2～9.9)	
	運 転 電 流	A		10.0		4.9		8.1		9.0	
	消 費 電 力	W		950(50～1,920)		960(50～2,315)		1,580(70～2,710)		1,760(70～2,940)	
	期 間 消 費 電 力 量	kWh		1.063		1.094		1.439		1.952	
	運 転 音	dB		44	45	44	47	46	49	47	51
	エネルギー消費効率	－		5.05		5.00		4.24		4.03	
房	暖房面積の 目安（㎡）	鉄筋アパート 南向き洋室	22		22		30		32		
		木造南向き和室	17		17		24		26		
冷 房	能 力	kW		3.6(0.1～4.1)		3.6(0.1～4.1)		4.5(0.2～5.3)		5.6(0.2～5.9)	
	運 転 電 流	A		9.0		4.3		6.1		9.2	
	消 費 電 力	W		835(50～1,180)		850(50～1,180)		1,185(70～1,770)		1,800(70～2,050)	
	期 間 消 費 電 力 量	kWh		300		314		401		586	
	運 転 音	dB		43	44	43	46	45	48	47	49
	エネルギー消費効率	－		4.31		4.24		3.80		3.11	
房	冷房面積の 目安（㎡）	鉄筋アパート 南向き洋室	25		25		31		39		
		木造南向き和室	16		16		20		25		
期 間 消 費 電 力 量		kWh		1.363		1.408		1.840		2.538	
冷暖平均エネルギー消費効率		－		4.68		4.62		4.02		3.57	
外 形 寸 法 （高さ×幅×奥行）		室内	305×860×259(据付後262)								
		室外	565×790×285								
製 品 質 量		kg		13.0	36.0	13.0	38.0	13.0	38.0	13.0	38.0
運転／停止ボタンで停止時の消費電力		W		0.8		0.95					

付属品	取扱説明書(1)、保証書(1)、据付工事説明書(1)、換気工事説明書(1) リモコン(1) RCS-EP2、単4形アルカリ乾電池(2) 空気清浄フィルター(1) STK-FS8、給気フィルター(ケース+フィルター2) リモコン取付具(1)、取付用ネジ(2)
	空気清浄フィルター STK-FS8(集塵脱臭フィルター) STK-FD7(脱臭フィルター) STK-FS7(集塵脱臭フィルター) STK-FS7A(集塵脱臭フィルター) 給気フィルター STK-KFP1(ケース+フィルター2) ソーラーパネル STK-SMC63(ソーラー・コンバーターセット) STK-SM63(ソーラーセット) テレコントローラー SHA-TC1

- この仕様はJIS(日本工業規格)に基づいた数値です。
- 表中の数値等はお断りなく変更する場合があります。
- 別売品についてはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 取扱説明書・本体定格銘板には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している形名の()内の記号が色記号です。
- 室外ユニットの形名のうしろに-T-Eが付いているものは、「耐塩害仕様」の機種を示します。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- このエアコンには保証書が付いています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡しますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

- お買いあげの日から1年間。
- 冷媒回路部分については5年間。



修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

- 修理すればご使用できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等が含まれています。

廃棄時のご注意

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

補修用性能部品の保有期間

- ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は

- ご不明な点はお買いあげの販売店またはもよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客さまメモ（お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼されるとき便利です。）

形 名	
お 買 い あ げ 日	年 月 日
お 買 い あ げ 販 売 店 電 話	() -

点検整備のおすすめ

- ご使用状態によって異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になりますと、内部が汚れ、能力が低下したり、においの発生・水漏れ、UV・除菌ユニットの性能低下などを起こす原因になります。通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要となります。

総合相談窓口

受付時間：9:00～17:00まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

- ◆北海道地区
札幌 (011) 290-1522
- ◆東北地区
仙台 (022) 714-6137
- ◆関東地区
東京 (03) 3815-1111
- ◆中部・北陸地区
名古屋 (052) 533-5245

- ◆近畿・四国地区
大阪 (06) 6994-9570
- ◆中国地区
広島 (082) 297-6067
- ◆九州・沖縄地区
福岡 (092) 263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

- ◆三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06) 6994-9510

詳細は、別紙の一覧表をご覧ください。

住所、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなった。
- エアコンに触れるとピリピリと電気を感ずる。
- 水漏れがある。
- 架台の吊下げ等の取付部品が腐食、ゆるんでいる。
- その他の異常や故障がある。

こんな
ときは

使用を中止してください。

故障や事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社
三洋エアコンディショナース株式会社

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

住所は変更することがありますのでご了承ください。

この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

85264180659003